

第48回（令和元年度第1回）川崎市介護保険運営協議会 次第

日時 令和元年7月25日（木）

14：00～16：00

場所 川崎市役所第3庁舎15階 第1・第2会議室

議 題

1 協議事項

（1）介護予防ケアマネジメント費の独自加算の創設について【資料1】

2 報告事項

（1）高齢者実態調査の実施について【資料2-1】

（2）超高齢社会の到来に向けた地域包括ケアシステムのあり方検討会議について【資料2-2】

（3）地域リハビリテーション施策の展開について【資料2-3】

（4）消費税増税に伴う介護保険料の軽減強化について【資料2-4】

（5）介護保険の執行状況について【資料2-5】

（6）地域密着型サービス等部会の報告について【資料2-6】

3 その他

次回開催 令和元年11月21日（木）14時～16時

令和元年7月25日開催 川崎市介護保険運営協議会資料

【資料1】介護予防ケアマネジメント費の独自加算の創設について P1

【資料2-1】高齢者実態調査の実施について P2～（別冊資料あり）

【資料2-2】超高齢社会の到来に向けた地域包括ケアシステムの
あり方検討会議について P8

【資料2-3】地域リハビリテーション施策の展開について P9～

【資料2-4】消費税増税に伴う介護保険料の軽減強化について P11

【資料2-5】介護保険の執行状況について P12～

【資料2-6】地域密着型サービス等部会の報告について P27～

介護予防ケアマネジメント費の独自加算の創設について

1 包括における介護予防支援事業の委託について

地域包括支援センターが行う第1号介護予防支援事業について、給付管理業務の一部を委託しているが、委託費の算出根拠となる基本単価が要介護者に対する単価比較で低いこと等から、委託先の指定居宅介護支援事業者を見つけるまでに相当の時間を要している。今後、消費税の増税の影響、高齢化の進展に伴う委託件数の増加等により、事業者探しが更に困難になることが想定されるため、インセンティブを働かせた独自加算を創設し、委託の円滑化を図るものとする。

【基本単価と事業者の収益】

	要支援等	要介護1・2	要介護3～5
基本単価	430	1,053	1,368
事業者の収益	3,540	11,709	15,212

※ 1単位の単価は11.12

※ 包括が行う委託は基本単価の8割(内税)を委託事業者に支払う

※ 要介護者に対する事業は10割が事業者の収益となるため金額の乖離が大きい

2 独自加算の創設について

○算定要件

介護予防支援等を提供した件数が、常勤換算方法より算出した値に 8 を乗じて得た数を超えた場合に加算

○単位

150 単位 (10 割を指定居宅介護支援事業者に支給)

	8件目まで	9件目以降
基本単価	430	580
事業者の収益	3,540	5,208

※ 一事業者(常勤換算で)一人当たり8件目までは従来通りの算定

※ 9件目を超えたものについて、1件あたり150単位×11.12で算定した費用が上乗せとなる

○経費(見込み) 1,200,000 円/月 14,400,000 円/年

3 加算実施による効果

○地域包括支援センター

給付管理業務の一部委託を円滑実施することにより、当該業務に要する時間を削減でき、当該削減した時間を他事業に活用することで、保健福祉の向上及び福祉の増進を図ることができる。

○介護給付の健全化

利用者による主体的な取り組みや自立を最大限に引き出す支援の方法等を指定居宅介護支援事業者が介護予防サービス計画等の作成を通じて経験することで、介護支援専門員の質の向上、介護給付の健全化を図ることができる。

4 参考データ

○ケアプラン数と委託件数の推移

年月	2016.4 A	2017.4	2018.4	2019.4 B	増加件数 B-A
ケアプラン数	8,354	8,574	9,188	9,493	1,139
委託件数	4,979	5,151	5,555	5,667	688

○ケアプラン数と委託状況

		要支援者等の数	ケアプラン数 A	一部委託数 B	委託率 B/A	委託事業者の ケアマネ数 C	1人当たり件数 B/C
南部	川崎区	2,556	1,359	680	50%	178.2	3.8
	幸 区	1,827	1,046	722	69%	110.3	6.6
中部	中原区	2,236	1,509	996	66%	132.8	7.5
	高津区	2,244	1,439	763	53%	159.5	4.8
北部	宮前区	2,286	1,398	951	68%	110.9	8.6
	多摩区	2,364	1,507	814	54%	110.9	7.3
	麻生区	1,971	1,235	741	60%	109.4	6.8
合 計		15,484	9,493	5,667	60%	911.8	7.2

※ 要支援者数等は平成31年4月末時点、ケアプラン数は4月審査分

令和元年度 川崎市高齢者実態調査の概要について

＜目 的＞

令和3年度から5年度までを計画期間とする「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を令和2年度に策定するにあたり、川崎市の高齢者の生活実態及び川崎市で介護保険事業を展開する事業者の実態などを把握し、計画の見直しに必要な基礎資料を得ることを目的として令和元年度に実施する。

＜調 査 対 象＞

◎川崎市在住の高齢者（65歳以上、標本（サンプル）調査）

- ① 一般高齢者調査（要支援・要介護認定を受けていない高齢者）
- ② 要支援・要介護認定者調査
- ③ 特別養護老人ホーム入居希望者調査

◎川崎市所在の介護保険サービス事業者（全数調査）

- ④ 居宅介護支援事業者調査（ケアマネ）
- ⑤ 居宅介護サービス事業者調査
- ⑥ 介護保険施設等調査（特養・老健・療養病床・GH・有料など）
- ⑦ 介護労働者調査（介護保険事業者）

＜調 査 日＞

基準日：令和元年10月1日

＜調 査 予 定 数＞

調査対象	総対象（H30.10時点）	調査票送付予定数	（前回）調査票回収数	（前回）回収率
① 一般高齢者	約306,699人	約23,000人	16,606人	72.2%
② 要介護等認定者	54,372人	約9,000人	5,503人	61.1%
③ 特養待機者	3,555人	約1,000人	606人	60.6%
④ 居宅介護支援	385事業所	全数	289事業所 （382事業所）	75.7%
⑤ 居宅介護サービス	1,140事業所	全数	625事業所 （1,044事業所）	59.9%
⑥ 介護保険施設	312箇所	全数	213事業所 （297事業所）	71.7%
⑦ 介護労働者	5,100件 （1,700事業所）	全数	2,168件 （5,001件、 1,667事業所）	43.4%

※総対象の事業所数については（⑤、⑦）、1事業所で複数のサービスを行っている場合もあるため、実際の送付件数と異なります。

《スケジュール》

平成31年3月	上旬	
	15日	介護保険運営協議会（調査実施概要について）
	下旬	
平成31年4月	上旬	
	中旬	
	下旬	
令和元年5月	上旬	
	中旬	
	下旬	
令和元年6月	上旬	
	中旬	委託業者決定
	24日	検討委員会①（調査項目の提示）
令和元年7月	上旬	
	11日	検討委員会②（委員会①の意見を踏まえ項目の提示）
	25日	介護保険運営協議会（調査項目の提示）
令和元年8月	上旬	
	中旬	
	下旬	
令和元年9月	上旬	
	中旬	
	下旬	
令和元年10月	上旬	
	中旬	対象者抽出⇒調査票発送
	下旬	
令和元年11月	上旬	
	中旬	
	下旬	調査票締切
令和元年12月	上旬	
	中旬	
	下旬	報告書作成開始
令和2年1月	上旬	
	中旬	
	下旬	
令和2年2月	上旬	検討委員会③（調査集計結果の報告）
	中旬	
	下旬	
令和2年3月	上旬	
	中旬	
	下旬	報告書納品

令和元年度川崎市高齢者実態調査検討委員会設置要綱

3 1 川健高事第 1 7 7 号健康福祉局長決裁

(目的)

第 1 条 川崎市の高齢者の生活実態及び介護保険事業を展開する事業所の実態を把握し、「第 8 期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に必要な基礎資料を得ることを目的として、令和元年度に実施する高齢者実態調査に係る調査の対象者・内容・項目等について検討を行うため、高齢者実態調査検討委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

(検討事項)

第 2 条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 調査方法の検討に関する事。
- (2) 調査項目・内容の検討に関する事。
- (3) 調査結果の分析に関する事。
- (4) 調査報告書の作成に関する事。
- (5) その他、委員会で必要と認められる事。

(委員構成)

第 3 条 委員会は、別表第 1 に掲げる職にある者をもって構成する。

2 委員長は、長寿社会部長をもって充て、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、委員長があらかじめ指名する他の委員が、順次に委員長の職務を代理する。

4 委員の任期は、令和元年 6 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日までとする。

5 第 1 項に掲げる構成員のほか、委員会が必要と認めるときは、有識者等に関係者として出席を求め、意見を聞くことができる。

(招集)

第4条 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

(報告)

第5条 委員会において、検討された内容については、適宜、介護保険運営協議会に報告するものとする。

(事務局)

第6条 委員会の事務を処理するため、健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課計画推進係に事務局を置く。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、令和元年6月1日から施行し、令和2年3月31日をもって廃止する。

別表（第3条関係）

№	委 員
1	健康福祉局 長寿社会部長
2	健康福祉局 長寿社会部 高齢者事業推進課長
3	健康福祉局 長寿社会部 高齢者事業推進課 事業者指導担当課長
4	健康福祉局 長寿社会部 高齢者在宅サービス課長
5	健康福祉局 長寿社会部 介護保険課長
6	健康福祉局 地域包括ケア推進室長
7	健康福祉局 地域包括ケア推進室 ケアシステム担当課長
8	健康福祉局 地域包括ケア推進室 地域保健担当課長
9	健康福祉局 地域包括ケア推進室 専門支援担当課長
10	健康福祉局 保健所 健康増進課長
11	健康福祉局 保健所 健康増進課 保健・予防担当課長
12	健康福祉局 総務部 企画課長

令和元年度 高齢者実態調査関係者名簿

(敬称略)

	所属団体等	氏名	備考
1	国際医療福祉大学大学院 教授	竹内 孝仁	
2	川崎市介護支援専門員連絡会 会長	出口 智子	
3	川崎市老人福祉施設事業協会 会長	成田 哲夫	
4	川崎市認知症ネットワーク 代表	柿沼 矩子	
5	介護保険運営協議会 市民公募委員	大谷 啓一	

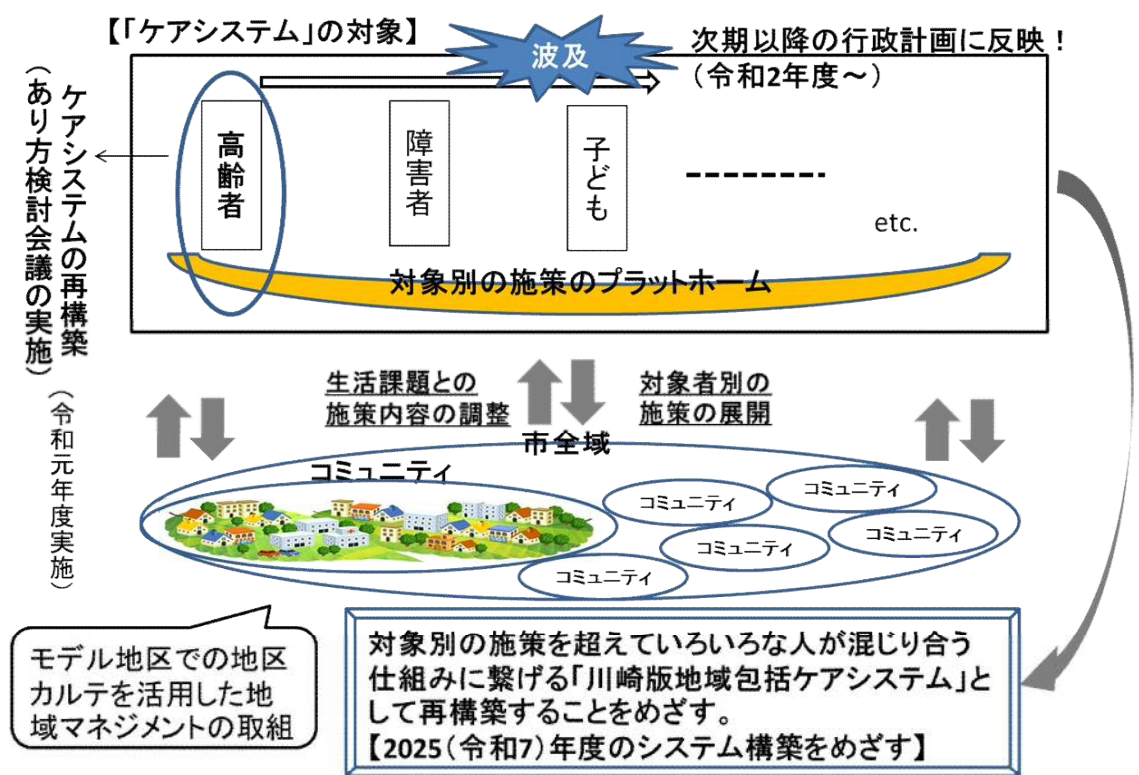
地域包括ケアシステム推進事業

1. 超高齢社会の到来に向けた地域包括ケアシステムのあり方検討会議

・超高齢社会の到来に向け、川崎市では、すべての市民を対象とした地域包括ケアシステム構築を目指しており、システム構築に向けては、**高齢者施策の汎用性に着目して取組を推進していくことが効果的**であると考えます。

・そこで、今後急増が予測される高齢者について、地区カルテの分析による地域課題等も考慮しながら、「住まい」「生活支援」「医療」「介護」「予防」が包括的に確保された環境整備に向けて、「**推進ビジョン**」の5つの基本的な視点をベースに、**今後の取組の大まかな方向性を整理**するため、あり方検討会議を設置する。

川崎版地域包括ケアシステム構築の工程



2. あり方検討会議メンバー ※敬称略

1	慶應義塾大学環境情報学部教授	秋山 美紀
2	国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻教授	石山 麗子
3	一般財団法人高齢者住宅財団企画部長	落合 明美
4	東京大学大学院法学政治学研究科教授	金井 利之
5	東京大学高齢社会総合研究機構特任講師	後藤 純
6	川崎市立看護短期大学学長	坂元 昇
7	特定非営利活動法人楽理事長	柴田 範子
8	公益財団法人川崎市医師会副会長	関口 博仁
9	社会福祉法人川崎聖風福祉会事業推進部長	中澤 伸
10	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授	堀田 聡子

3. 検討テーマと論点

	検討テーマ	取組の方向性	主な取組例
1	高齢期の「住まいと住まい方」について	生活の基盤として、本人の尊厳が十分に守られた住環境が整備され、本人の希望になかった住まい方が確保された環境を目指す。	①住宅基本計画に基づく取組の推進（ライフステージに応じた住み替えの円滑化、健康長寿の住まいづくり等） ②在宅基盤を支える介護サービス基盤の整備（認知症グループホーム等の整備） ③居住支援協議会の設置
2	介護予防と共に支え合う地域づくりに向けた「多様な主体の活躍」について	自立した生活の維持に向けて、いきがいや介護予防、閉じこもり防止に向けた取組を進めるとともに、インフォーマル・サポートが地域の中で提供されるよう、多様な主体の役割分担による「互助」を支える仕組みづくりを進める。	①一般介護予防事業（介護予防等自主活動グループ立ち上げ及び活動支援、介護予防講演会、いきい元気広場等） ②地域支え合い推進事業（生活支援体制整備事業） ③「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組
3	医療と介護の連携による「一体的なケアの提供」について	本人の身体状況に応じた、専門職によるケアを多職種の連携により、切れ目なく提供できる体制づくりに向け、医療と介護の円滑な連携の推進によるケアの提供を目指す。	①在宅療養推進協議会による医療・介護連携体制の構築（多職種連携マニュアル・入退院調整モデルの整備等） ②地域リハビリテーション施策の推進（総合リハビリテーションセンターの整備とサービス提供施設・事業所に対する助言・支援機能と連絡調整機能の強化） ③相談支援・ケアマネジメント体制の整備（区役所・地域包括支援センター・ケアマネジャーによる連携の強化）
4	認知症の人にやさしい地域づくり	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指して、高齢化に伴う認知症高齢者の増加、MCI、若年性認知症等への対応を含め、認知症の人やその家族の視点に立った支援を進める。	①認知症訪問支援事業（初期集中支援チーム） ②認知症サポーター養成講座の開催 ③認知症コールセンター ④認知症カフェや本人会議等による理解しあえる地域の仕組みづくり
5	・介護人材の確保・育成・定着について ・仕事と介護の両立支援について	多くの介護サービス事業所が人材確保や定着が困難な状況であることを踏まえ、質の高い介護サービスが提供される環境を目指して人材確保や定着の取組を進め、育児との「ダブルケア」等の複合的な生活課題を抱える介護者への支援を含め、介護者支援の取組を進める。	①就職相談会の開催や再就職支援等による就労支援 ②介護職員のメンタルヘルスケアの実施や、外国人介護人材・介護ロボットの導入支援などによる定着支援 ③包括的な相談支援体制の構築に向けた取組

4. 検討スケジュール

6月10日（月）	第1回検討会議	・これまでの取組、今後の進め方
7月25日（木）	令和元年度第1回 介護保険運営協議会への報告	
8月 7日（水）	第2回検討会議	・高齢期の「住まいと住まい方」について ・介護予防と共に支え合う地域づくりに向けた「多様な主体」の活躍
9月 3日（火）	地ケア連絡協議会運営委員会への意見聴取	
10月中旬	第3回検討会議	・認知症の人にやさしい地域づくり ・医療と介護の連携による「一体的なケアの提供」
11月（予定）	令和元年度第2回 介護保険運営協議会への報告	
11月中旬	第4回検討会議	・介護人材の確保・育成・定着 ・仕事と介護の両立支援 ・中間とりまとめ
2月中旬	地ケア連絡協議会運営委員会への意見聴取	
3月中旬	第5回検討会議	・とりまとめ

※令和2年度策定予定の次期「いきいき長寿プラン」をはじめとして、「地域福祉計画」などに反映していくことをめざす。

総合リハビリテーションセンターの施設概要

総合リハビリテーション推進センター 総合研修センター 南部リハビリテーションセンター (令和3年4月開設)				
《福祉センター跡地活用施設の概要》				
〔所在地〕 川崎市川崎区日進町5-1				
〔敷地面積〕 4, 032. 3㎡				
〔建築面積〕 2, 394. 37㎡ 〔延床面積〕 13, 850. 41㎡ 〔階数〕 地上8階				
8階	特別養護老人ホーム 入所定員 100名 短期入所定員 15名			
7階				
6階				
5階	障害者入所施設 入所定員 47名 短期入所 20名 自立訓練定員 20名			
4階				
3階	南部リハビリテーションセンター 【日中活動センター】	発達相談支援センター ひきこもり地域支援センター 南部就労援助センター	障害者入所施設 (日中活動機能)	
2階	総合リハビリテーション推進センター 総合研修センター	南部リハビリテーションセンター 【地域支援室、在宅支援室】	在宅医療サポートセンター ウェルフェアイノベーション 連携・推進センター	防災備蓄 倉庫
1階	看護小規模多機能型居宅介護 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	厨 房 食 堂	法人事務所 事業所内保育所	地域交流 スペース

中部リハビリテーションセンター (平成28年4月開設)

〔所在地〕 川崎市中原区井田3-16-1

《施設構成》

【直 営】

○地域支援室 (井田障害者センターを再編)

※障害者分野に加えて、高齢者や障害児分野の取組も実施

(医学的・社会的・心理的な評価判定、福祉用具や住宅改修等の相談・調整)

【指定管理】

○在宅支援室

○日中活動センター

○地域生活支援センター

(主として精神障害者を対象として、通所による相談支援や生活支援等を実施)

(1)総合リハビリテーション推進センター

【直 営】(障害者更生相談所と精神保健福祉センターを統合再編)

○総務部門(2階)

(障害者手帳の交付判定、自立支援医療の支給認定等)

○企画部門(2階)

※障害者分野に加えて、高齢者や障害児分野の取組も実施

(調査研究の実施、連携体制の調整、人材育成の企画)

(2)総合研修センター

【指定管理】(高齢社会福祉総合センターの人材開発研修センターの機能を移転)

○総合研修センター(2階)

※高齢者分野に加えて、障害者や障害児分野の研修も実施

(福祉・介護職員の初任者・現任研修、専門的な研修の実施)

(3)南部リハビリテーションセンター

【直 営】(障害者更生相談所「南部地域支援室」を移転・再編)

○地域支援室(2階)

※障害者分野に加えて、高齢者や障害児分野の取組も実施

(医学的・社会的・心理的な評価判定、福祉用具や住宅改修等の相談・調整)

【指定管理】(新設・中部と北部の体制をベースに整備)

○在宅支援室(2階)

(訪問による専門的な在宅支援、福祉用具の作成や住環境整備等)

○日中活動センター(3階)

(通所による継続的な評価や自立訓練(生活訓練))

指定管理者制度の 導入スケジュール	令和元年7月以降	指定管理者の募集、指定管理予定者の選定
	令和元年12月市議会定例会	指定議案の提案
	令和元年12月	指定管理者の指定
	令和2年4月	指定管理者による準備室の運営開始
	令和3年4月	指定管理者による管理の開始

北部リハビリテーションセンター (平成20年4月開設)

〔所在地〕 川崎市麻生区百合丘2-8-2

《施設構成》

【直 営】

○地域支援室 (百合丘障害者センターを再編)

※障害者分野に加えて、高齢者や障害児分野の取組も実施

(医学的・社会的・心理的な評価判定、福祉用具や住宅改修等の相談・調整)

【指定管理】

○在宅支援室

○日中活動センター

○地域生活支援センター

(主として精神障害者を対象として、通所による相談支援や生活支援等を実施)

総合リハビリテーションセンターの設置目的と機能

1. 設置の目的

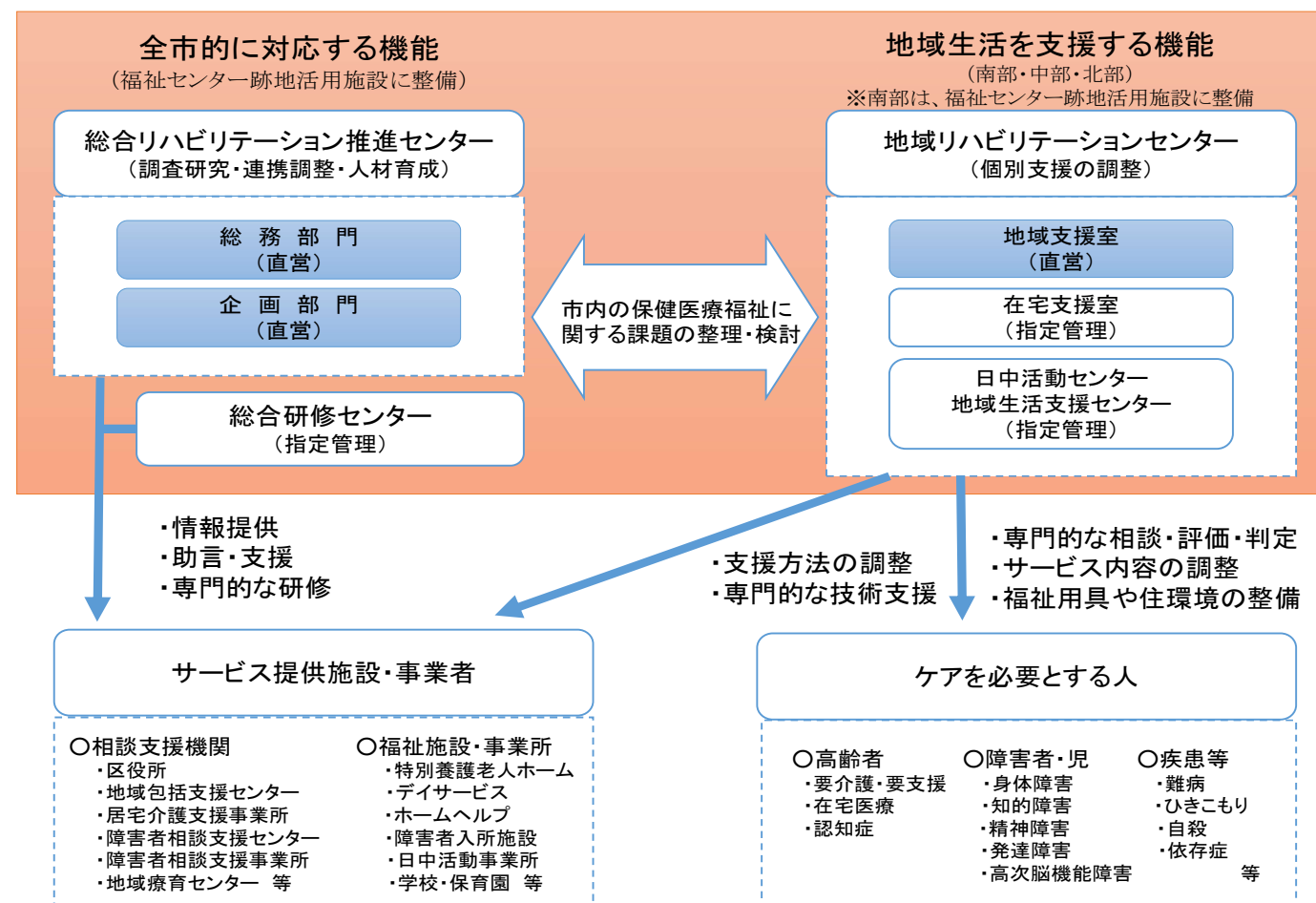
- 今後急速に医療・介護ニーズが増加していくため、病院や施設だけで対応することが難しくなる
- 入院・入所期間を短縮し、地域・在宅で生活し続けることができるようにしていくことが必要

地域包括ケアシステムの構築

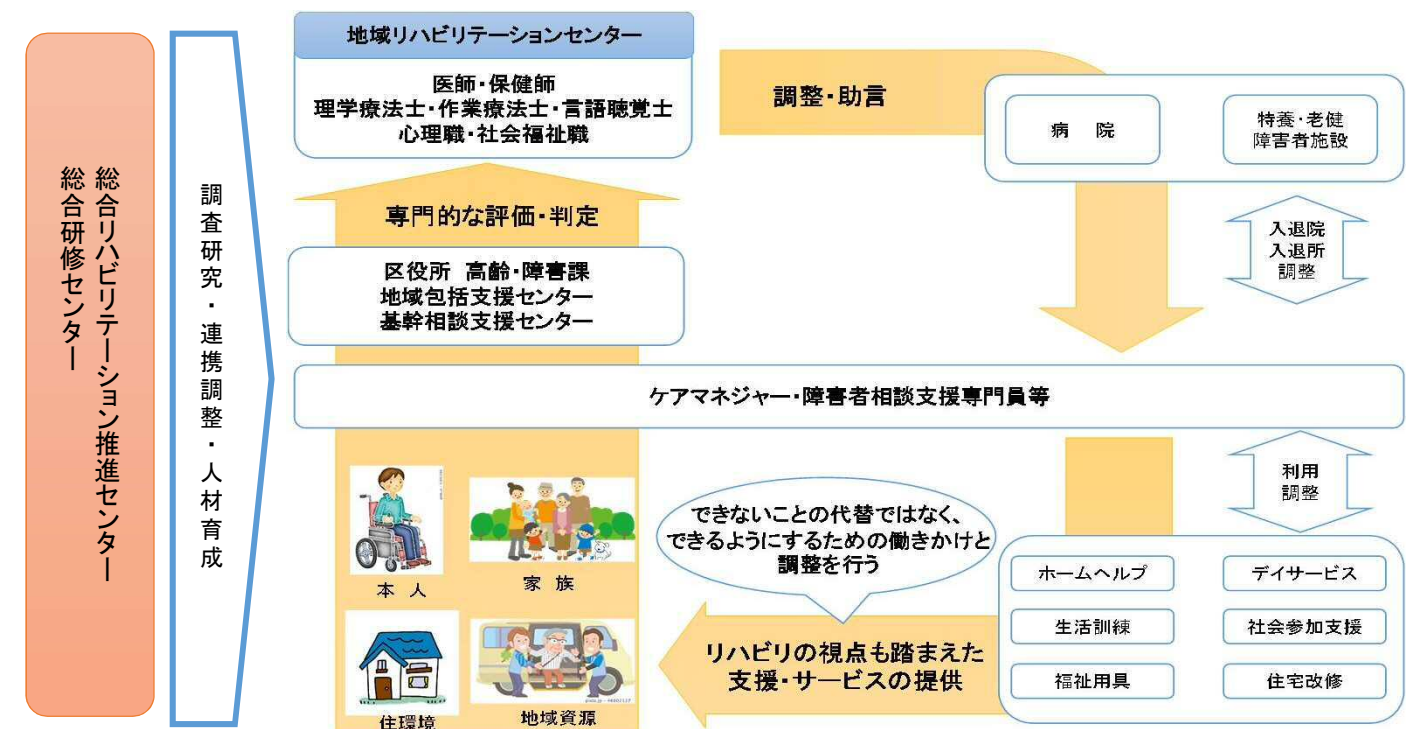
高齢者、障害者、障害児等が、可能な限り、住み慣れた場所で暮らし続けることができるようにしていく

- 心身障害者総合リハビリテーションセンターと高齢社会福祉総合センターの機能を再編し、年齢や疾病、障害の種別を問わない、全世代・全対象型のリハビリテーション体制を整備
- 質の高い保健医療福祉サービスを、地域の中で包括的に提供していくことにより、医療や介護が必要になっても、安心して暮らし続けることができる地域を実現

2. 総合リハビリテーションセンターの機能



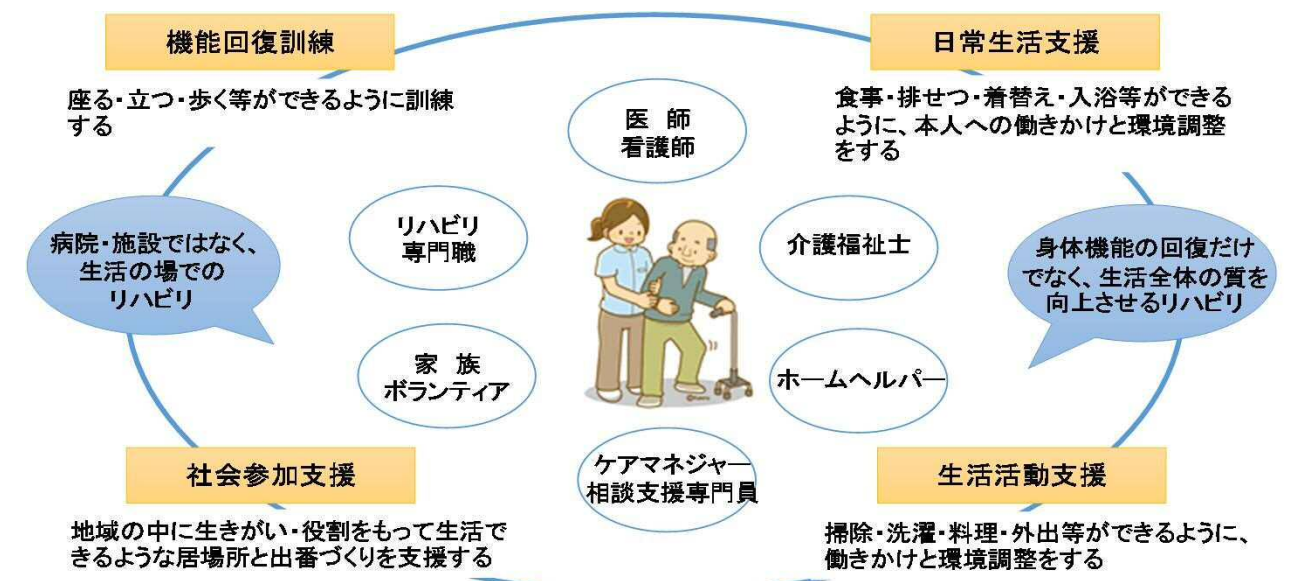
3. 総合リハビリテーションセンターの位置づけ



4. 川崎市におけるリハビリテーションの取組

○身体を動かせるようにするだけでなく、食事ができるようにする、洗濯をできるようにする、働けるようにするといった生活全体を支える取組としていく。

○リハビリ専門職だけがリハビリを実施するのではなく、生活全体がリハビリとして機能するよう、様々な支援やサービスにリハビリの視点を組み込んでいく



令和元年 7 月 2 5 日
健康福祉局長寿社会部介護保険課

消費税増税に伴う介護保険料の軽減強化について

1 概要

令和元年 1 0 月に予定されている消費税の増税（8%→10%）分を原資として、低所得者に対する保険料軽減強化を目的とした介護保険法施行令の改正が行われました（平成 31 年 4 月 1 日施行）。

これに合わせて、条例改正及び本措置に伴う平成 31 年度予算の補正を 6 月議会で行いました。なお、令和元年度の保険料軽減強化については、令和元年 1 0 月以降の消費税率引き上げによる財源の手当てであることから、令和 2 年度以降の完全実施時における軽減幅の半分の水準に設定することとなり、令和 2 年度に改めて条例改正を行います。

2 本市の対応

国の示した軽減幅をそのまま採用し最大限の軽減を行います（同様の対応を行う政令市：横浜市・千葉市等 15 市、独自基準を採用する市：相模原市・札幌市等 5 市）。

本市の第 3 段階における国の示した割合は、0.75→0.625（現時点から△0.125）であるが、本市の保険料割合は現時点で 0.65 であるので、0.65→0.525 となります。

保険料段階 カッコ内は国	平成30年度		令和元年度			令和2年度以降		
	国割合	市割合	国割合	市割合	軽減幅	国割合	市割合	軽減幅
第1・2段階 (第1段階)	0.45		0.375		△0.075	0.3		△0.15
	31,455円		26,213円		(-5,242円)	20,970円		(-10,485円)
第3段階 (第2段階)	0.75	0.65	0.625	0.525	△0.125	0.5	0.4	△0.25
	45,435円		36,698円		(-8,737円)	27,960円		(-17,475円)
第4段階 (第3段階)	0.75		0.725		△0.025	0.7		△0.05
	52,425円		50,678円		(-1,747円)	48,930円		(-3,495円)

- ・保険料割合とは、基準額である第 6 段階（69,900 円）に対する割合
- ・表中の金額は年額ベースの保険料額（1 円未満端数切り上げ）
- ・保険料段階は、本市の段階とそれに対応する国の段階を二段で表記（表中では国段階はカッコ内に表記）

川崎市介護保険執行状況

川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課

1. 第1号被保険者数及び要介護・要支援認定者数の推移

【本市の第1号被保険者数等の推移】

(各年度10月1日時点、単位:人)

	平成12年度	27年度	28年度	29年度
第1号被保険者数	155,122	278,139	285,243	291,620
前期高齢者(65～74歳)	98,303	151,870	152,633	152,519
後期高齢者(75歳～)	56,819	126,269	132,610	139,101
後期高齢者構成割合	36.63%	45.40%	46.49%	47.70%
要介護・要支援認定者数	14,501	49,522	51,278	53,595
第1号被保険者	13,859	48,223	49,942	52,239
第1号被保険者認定率	8.93%	17.34%	17.51%	17.91%
前期高齢者	2,965	7,198	7,272	7,270
前期高齢者認定率	3.02%	4.74%	4.76%	4.77%
後期高齢者	10,894	41,025	42,670	44,969
後期高齢者認定率	19.17%	32.49%	32.18%	32.33%
第2号被保険者	642	1,299	1,336	1,356

	30年度 (推計)	30年度 (実績)	令和元年度 (2019)	2年度 (2020)	7年度 (2025)
第1号被保険者数	298,046	295,896	304,472	310,897	331,200
前期高齢者(65～74歳)	153,197	151,486	153,855	154,512	136,433
後期高齢者(75歳～)	144,849	144,410	150,617	156,385	194,767
後期高齢者構成割合	48.60%	48.80%	49.47%	50.30%	58.81%
要介護・要支援認定者数	56,075	55,760	58,559	61,055	77,724
第1号被保険者	54,700	54,372	57,163	59,641	76,155
第1号被保険者認定率	18.35%	18.38%	18.77%	19.18%	22.99%
前期高齢者	7,505	7,272	7,735	7,964	7,019
前期高齢者認定率	4.90%	4.80%	5.03%	5.15%	5.14%
後期高齢者	47,195	47,100	49,428	51,677	69,136
後期高齢者認定率	32.58%	32.62%	32.82%	33.04%	35.50%
第2号被保険者	1,375	1,388	1,396	1,414	1,569

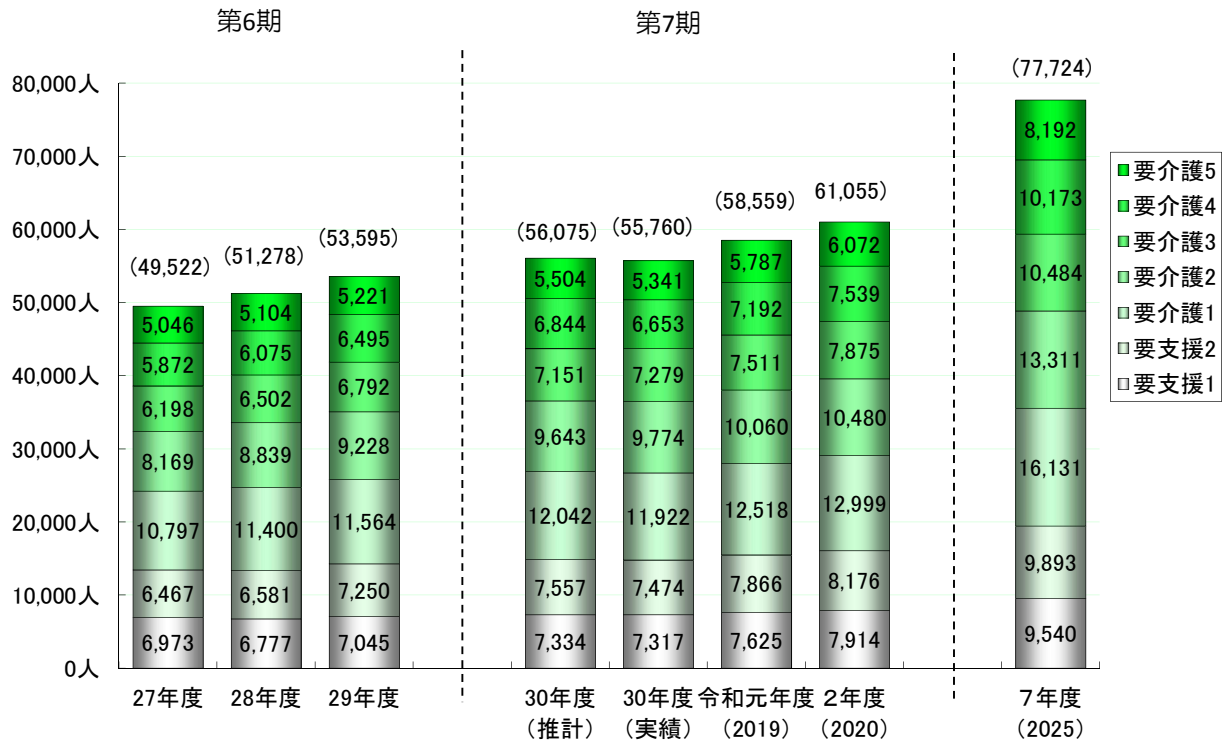
※第1号被保険者とは、65歳以上の本市介護保険の被保険者です。住所地特例等により65歳以上人口とは異なります。

※第2号被保険者とは、40～64歳の医療保険加入者です。

※認定率とは、第1号被保険者に占める要介護・要支援認定者数の割合のことです。

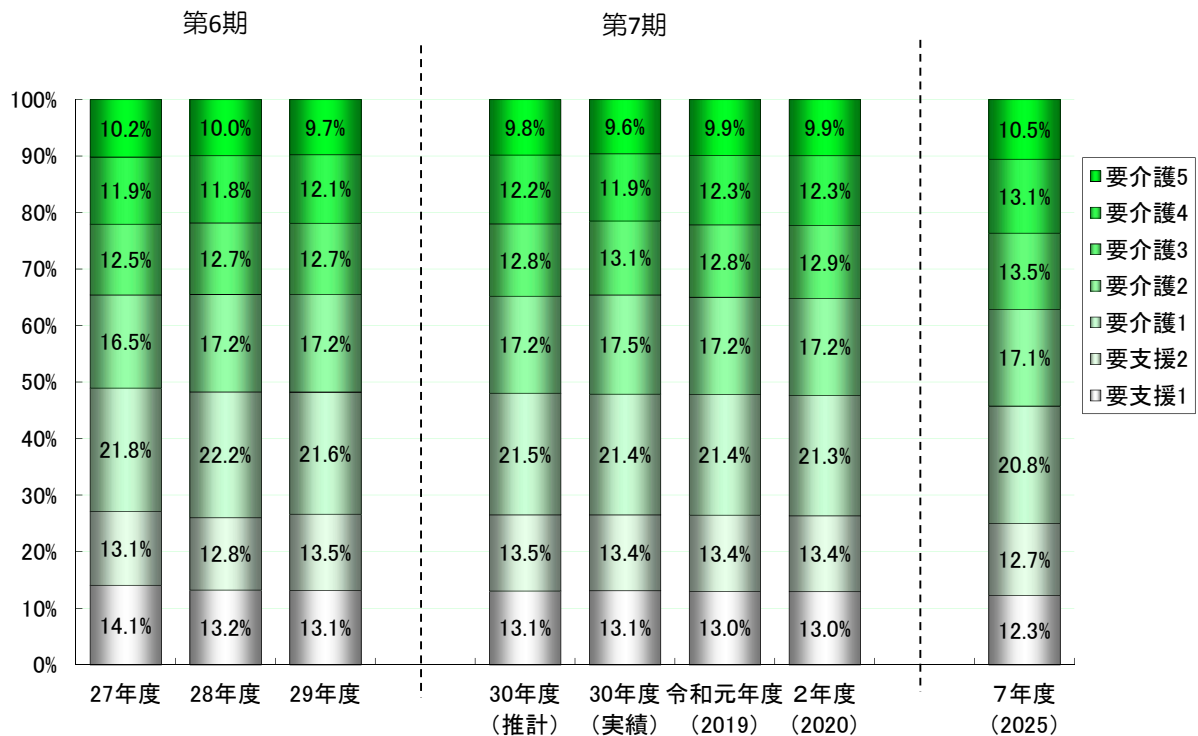
【本市の要介護・要支援認定者数の推移(区分別内訳)】

(各年度10月1日時点、単位:人)



【本市の要介護・要支援認定者数の構成比の推移(構成比)】

(各年度10月1日時点)



【参考：各区高齢者人口】

(平成30年10月1日時点)

	総人口	65歳以上	内 75歳以上	高齢化率	高齢者のうち 75歳以上割合
全市	1,516,483	306,699	152,113	20.22%	49.60%
川崎区	231,530	51,311	25,004	22.16%	48.73%
幸区	167,206	38,227	19,020	22.86%	49.76%
中原区	258,119	39,499	19,492	15.30%	49.35%
高津区	231,808	42,977	20,587	18.54%	47.90%
宮前区	231,131	50,107	24,849	21.68%	49.59%
多摩区	217,941	42,827	21,655	19.65%	50.56%
麻生区	178,748	41,751	21,506	23.36%	51.51%

※この高齢者人口は、総務省が公表した「平成27年国勢調査人口 年齢・国籍不詳を按分した人口」による年齢別人口を基数として、住民基本台帳の年齢別移動人口を増減して推計したものです。

【参考：各区高齢者人口の推移】

(各年度10月1日時点)

	第6期			第7期
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人口	1,475,213人	1,489,477人	1,503,690人	1,516,483人
高齢者人口	287,336人	294,969人	301,514人	306,699人
川崎区	48,945人	49,878人	50,882人	51,311人
幸区	36,024人	36,995人	37,727人	38,227人
中原区	37,337人	38,273人	38,929人	39,499人
高津区	39,704人	40,967人	42,110人	42,977人
宮前区	46,086人	47,602人	48,828人	50,107人
多摩区	40,059人	41,150人	42,070人	42,827人
麻生区	39,181人	40,104人	40,968人	41,751人
高齢化率	19.48%	19.80%	20.05%	20.22%
75歳以上人口	132,149	139,007	145,679	152,113
高齢者のうち 75歳以上割合	45.99%	47.13%	48.32%	49.60%

2. サービス利用者数の推移

(1) 施設・居住系サービス利用者数の推移

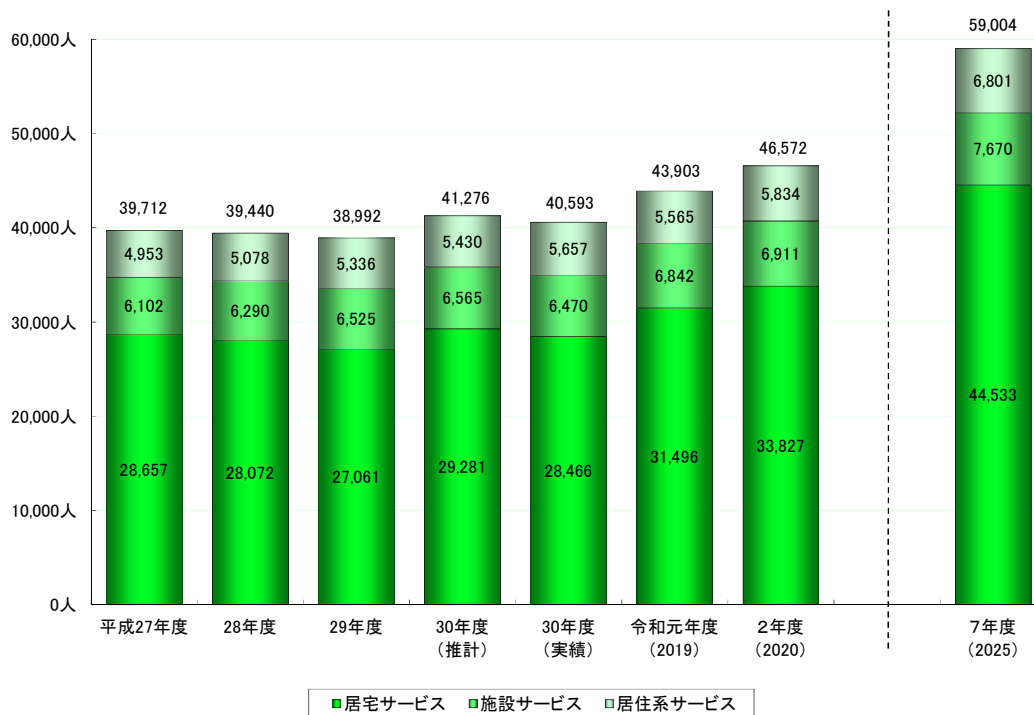
	第6期			第7期					(単位: 人/月平均)
	平成27年度	28年度	29年度	30年度(推計)	30年度(実績)	30年度(実績/推計)	令和元年度(2019)	2年度(2020)	第9期 7年度(2025)
特別養護老人ホーム	3,751	3,976	4,068	4,165	4,166	100.0%	4,402	4,432	4,998
地域密着型特別養護老人ホーム	271	265	246	248	244	98.4%	248	248	248
介護老人保健施設	1,936	1,938	2,014	2,042	2,000	97.9%	2,082	2,121	2,309
介護療養型医療施設	415	376	336	358	304	84.9%	358	358	363
介護医療院									
認知症高齢者グループホーム	1,682	1,724	1,814	1,862	1,950	104.7%	1,957	2,146	2,753
特定施設入居者生活介護	3,000	3,089	3,257	3,320	3,463	104.3%	3,360	3,440	3,800
利用者計	11,055	11,368	11,735	11,995	12,127	101.1%	12,407	12,745	14,471

(2) 居宅サービス利用者数の推移

	第6期			第7期					(単位: 人/月平均)
	平成27年度	28年度	29年度	30年度(推計)	30年度(実績)	30年度(実績/推計)	令和元年度(2019)	2年度(2020)	第9期 7年度(2025)
居宅サービス等利用者数	28,657	28,072	27,061	29,281	28,466	97.2%	31,496	33,827	44,533

【本市のサービス利用者の推移】

(単位: 人/月平均)



※居宅サービスとは、施設サービス、居住系サービス以外のサービス利用者のことをいいます。

※施設サービスとは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の利用者のことをいいます。

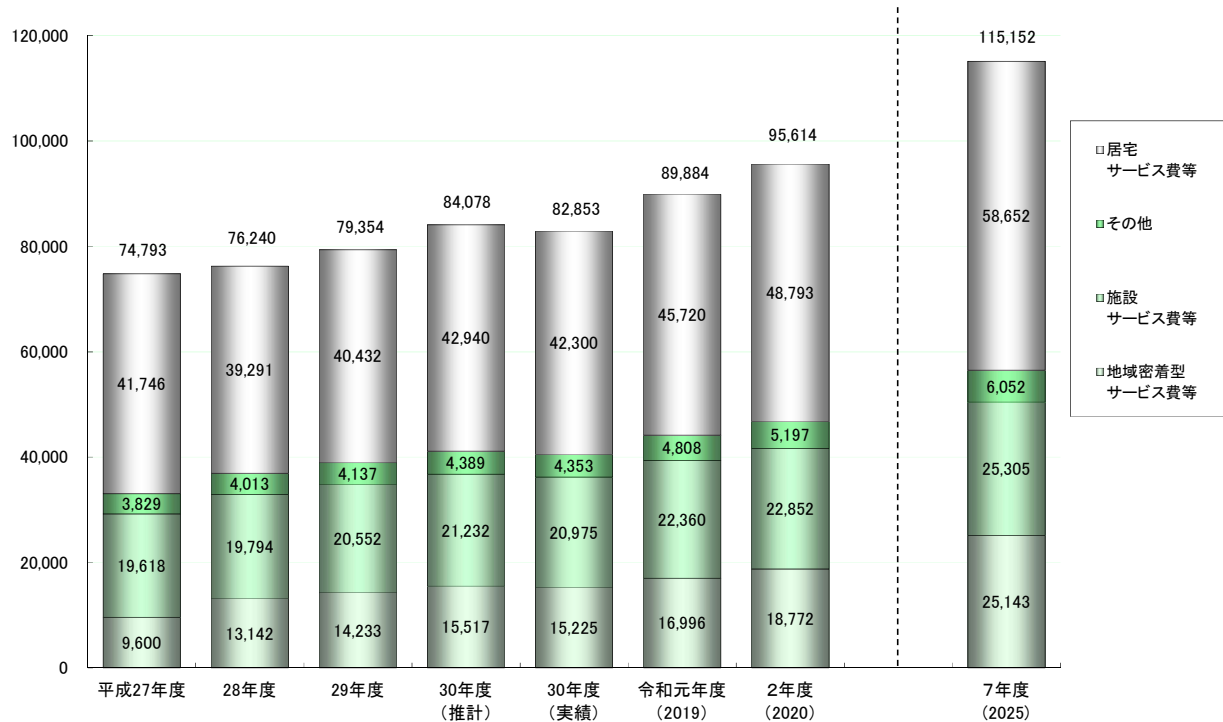
※居住系サービスとは、認知症高齢者グループホーム、特定施設(介護付有料老人ホーム等)、小規模特別養護老人ホーム等の利用者のことをいいます。

3. 介護保険給付費の推移

【本市の介護保険給付費の推移】

	第6期			第7期					(単位:百万円)
	平成27年度	28年度	29年度	30年度 (推計)	30年度 (実績)	30年度 (実績/推計)	令和元年度 (2019)	2年度 (2020)	第9期 7年度 (2025)
居宅サービス費等	41,746	39,291	40,432	42,940	42,300	98.5%	45,720	48,793	58,652
地域密着型サービス費等	9,600	13,142	14,233	15,517	15,225	98.1%	16,996	18,772	25,143
施設サービス費等	19,618	19,794	20,552	21,232	20,975	98.8%	22,360	22,852	25,305
高額介護サービス費等	1,607	1,923	2,042	2,297	2,290	99.7%	2,565	2,855	3,296
高額医療合算介護サービス費等	236	237	309	297	316	106.4%	330	366	571
特定入所者介護サービス費等	1,986	1,853	1,786	1,795	1,747	97.3%	1,913	1,976	2,185
給付費合計	74,793	76,240	79,354	84,078	82,853	98.5%	89,884	95,614	115,152

(単位:百万円)



4. 地域支援事業費の推移

【本市の地域支援事業費の推移】

事業名	第6期			第7期					(単位:百万円)
	27年度	28年度	29年度	30年度 (推計)	30年度 (実績)	30年度 (実績/推計)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	第9期 37年度 (2025)
介護予防事業	207	—	—	—	—	—	—	—	—
介護予防・日常生活支援総合事業	—	1,017	2,160	2,436	2,189	89.9%	2,532	2,670	2,925
介護予防・生活支援サービス事業	—	865	2,011	2,269	2,059	90.7%	2,364	2,500	2,754
一般介護予防事業	—	152	149	167	130	77.8%	168	170	171
包括的支援事業	1,233	1,336	1,351	1,662	1,431	86.1%	1,781	1,792	2,028
任意事業	45	50	50	70	56	80.0%	89	95	147
地域支援事業合計	1,485	2,403	3,561	4,168	3,676	88.2%	4,402	4,557	5,100

※介護予防事業については、平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業の中で実施。

5. 介護保険料の推移

【第1号被保険者保険料の収納状況】

(単位:円)

平成26年度

	調定額	収納額	収納率
特別徴収	14,834,693,970	14,834,693,970	100.00%
普通徴収	2,196,795,650	1,943,541,454	88.47%
計	17,031,489,620	16,778,235,424	98.51%

平成27年度

	調定額	収納額	収納率
特別徴収	16,917,762,250	16,917,762,250	100.00%
普通徴収	2,345,652,550	2,078,536,751	88.61%
計	19,263,414,800	18,996,299,001	98.61%

平成28年度

	調定額	収納額	収納率
特別徴収	17,524,667,080	17,524,667,080	100.00%
普通徴収	2,305,236,830	2,041,515,409	88.56%
計	19,829,903,910	19,566,182,489	98.67%

平成29年度

	調定額	収納額	収納率
特別徴収	17,919,134,640	17,919,134,640	100.00%
普通徴収	2,325,579,000	2,104,188,200	90.48%
計	20,244,713,640	20,023,322,840	98.91%

平成30年度

	調定額	収納額	収納率
特別徴収	19,332,447,300	19,332,447,300	100.00%
普通徴収	2,268,335,320	2,114,073,934	93.20%
計	21,600,782,620	21,446,521,234	99.29%

6. 介護保険事業所数及び高齢者施設数の推移

(1) 介護保険事業所数

① 介護サービス

(平成31年4月1日現在)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	計
居宅介護支援	70	47	63	60	50	50	46	386
訪問介護	69	44	49	51	48	33	43	337
訪問入浴介護	3	2	5	1	3	2	1	17
訪問看護 (訪問看護ステーションを除く)	62	40	62	36	35	32	33	300
訪問看護ステーション	11	7	13	15	13	10	14	83
訪問 リハビリテーション	30	23	25	19	20	20	24	161
居宅療養管理指導	280	190	334	215	173	235	168	1,595
通所介護	29	19	18	27	18	14	19	144
通所 リハビリテーション	8	3	5	6	7	4	4	37
短期入所生活介護	8	8	7	9	12	15	13	72
短期入所療養介護	3	2	1	5	4	4	5	24
特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	8	10	11	19	20	22	18	108
特定施設入居者生活介護 (養護老人ホーム)	-	-	-	1	-	-	-	1
特定施設入居者生活介護 (軽費老人ホーム) ※ケアハウス	-	-	-	-	2	-	-	2
特定福祉用具販売	11	7	12	3	10	1	4	48
福祉用具貸与	10	7	11	2	9	2	4	45
介護老人福祉施設	6	6	5	6	6	9	9	47
介護老人保健施設	2	2	1	4	4	3	3	19
介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	0
介護療養型医療施設	-	-	-	-	1	-	2	3
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	3	3	2	5	4	2	2	21
夜間対応型訪問介護	1	1	1	1	1	1	2	8
認知症対応型通所介護	13	6	11	4	11	10	6	61
小規模多機能型居宅介護	5	8	4	7	9	10	6	49
認知症対応型共同生活介護	23	14	16	18	18	19	19	127
看護小規模多機能型居宅介護	-	1	1	6	3	1	4	16
地域密着型通所介護	41	20	19	26	26	36	23	191
地域密着型特定施設 入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	0
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	1	1	2	-	3	1	1	9
計	697	471	678	546	510	536	473	3,911

(2) 高齢者施設等

(平成31年4月1日現在)

施設名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	計
養護老人ホーム	-	-	-	2	-	-	-	2
地域包括支援センター	9	6	6	7	7	7	7	49
ケアハウス	-	-	-	1	2	-	-	3
老人福祉センター	1	1	1	1	1	1	1	7
老人いこいの家	9	6	7	7	5	7	7	48
福祉住宅	1	1	-	1	-	2	-	5
シルバーハウジング	7	3	4	7	4	5	2	32

(3) 介護保険事業所数及び高齢者施設数の推移

① 介護保険事業所数の推移

(各年度4月1日時点)

	平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日	平成30年4月1日	平成31年4月1日
居宅介護支援	336	368	381	393	386
訪問介護	287	314	323	334	337
訪問入浴介護	20	19	19	18	17
訪問看護	346	356	368	379	383
訪問看護ステーション（再掲）	67	66	74	77	83
訪問リハビリテーション	150	153	155	159	161
居宅療養管理指導	1,402	1,435	1,495	1,562	1,595
通所介護 （地域密着型含む）	312	333	339	344	335
通所リハビリテーション	35	35	35	37	37
短期入所生活介護	57	66	67	69	72
短期入所療養介護	26	26	25	24	24
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	11	12	12	21	21
夜間対応型訪問介護	9	9	8	8	8
認知症対応型通所介護	56	61	63	63	61
小規模多機能型居宅介護	39	42	46	48	49
認知症対応型共同生活介護	109	109	115	122	127
看護小規模多機能型居宅介護	7	8	9	12	16
地域密着型介護老人福祉施設	9	9	9	9	9
特定施設入居者生活介護	104	106	108	108	108
福祉用具貸与	46	45	44	43	45
介護老人福祉施設 （地域密着型含む）	50	53	53	54	56
介護老人保健施設	19	19	19	19	19
介護医療院				-	-
介護療養型医療施設	5	5	4	3	3

② 高齢者施設等の推移

(各年度4月1日時点)

	平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日	平成30年4月1日	平成31年4月1日
養護老人ホーム	2	2	2	2	2
地域包括支援センター	49	49	49	49	49
ケアハウス	3	3	3	3	3
老人福祉センター	7	7	7	7	7
老人いこいの家	48	48	48	48	48
福祉住宅	5	5	5	5	5
シルバーハウジング	32	32	32	32	32

(4) 介護保険サービス事業所に対する指導及び監査状況

平成	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実地指導	141 件	177 件	285 件	271 件	283 件
監査	3 件	5 件	1 件	15 件	9 件

※実地指導及び監査の数については、施設算定のため、「指定介護予防」を含まない。

◇ その他参考資料 ◇

1. 要介護認定状況

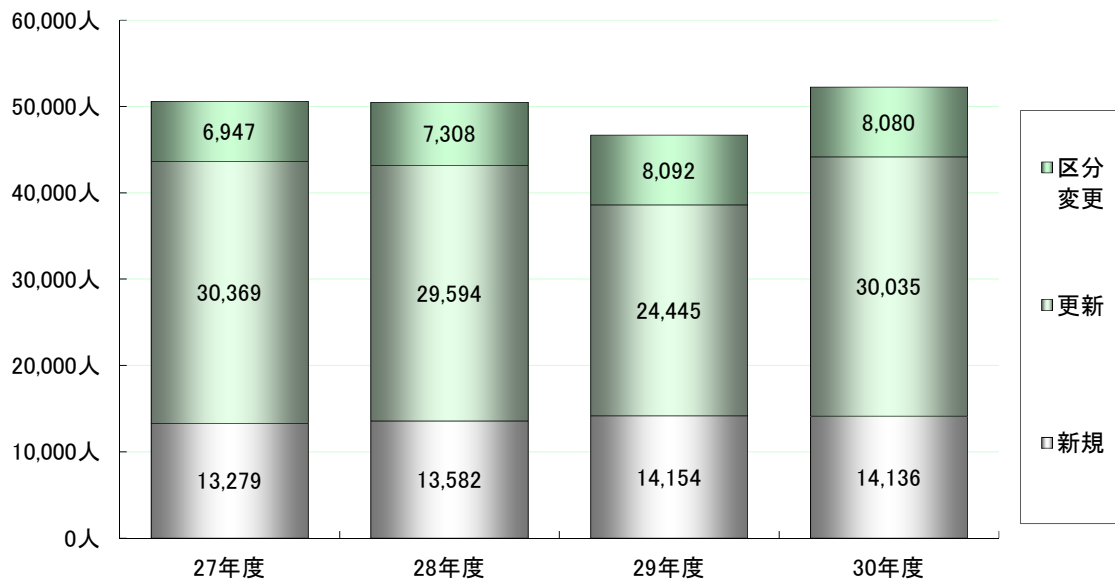
(1) 認定申請件数

(単位:件・%)

	第6期						第7期	
	27年度		28年度		29年度		30年度	
	計	割合	計	割合	計	割合	計	割合
新規	13,279	26.2%	13,582	26.9%	14,154	30.3%	14,136	27.1%
更新	30,369	60.0%	29,594	58.6%	24,445	52.4%	30,035	57.5%
区分 変更	6,947	13.7%	7,308	14.5%	8,092	17.3%	8,080	15.5%
合計	50,595	100%	50,484	100%	46,691	100%	52,251	100%

※平成30年度は、3月末時点の実績

【認定申請件数の年度推移】



(2) ① 平成30年度 介護認定審査会審査結果

※平成30年4月～31年3月
単位:件数

二 次 判 定											
1 次 判 定			非該当	要支援		要介護					一次判定 計
				1	2	1	2	3	4	5	
	非該当		309	733	26	101	19	0	0	0	1,188
	要 支 援	1	13	6,099	544	763	47	5	1	0	7,472
		2	1	62	5,659	1,352	109	6	0	0	7,189
	要 介 護	1	1	14	971	8,861	931	34	2	0	10,814
		2	0	0	4	53	7,253	590	9	0	7,909
		3	0	0	0	0	27	5,126	370	1	5,524
		4	0	0	0	0	2	47	5,414	415	5,878
		5	0	0	0	0	0	4	67	4,742	4,813
二次判定 合 計			324	6,908	7,204	11,130	8,388	5,812	5,863	5,158	50,787
変更件数			15	809	574	917	1,135	686	449	416	5,001
再調査件数										1	

(2) ② 一次判定からの変更率（県集計済み年月まで）

		県内平均	川崎市
6 期	平成27年度	9.9%	11.2%
	平成28年度	9.6%	10.3%
	平成29年度	— ※1	9.6%
7 期	平成30年度	— ※2	9.9%

※1 認定ソフト変更により横浜市を始めとした複数の市町村分が現時点で未集計のため

※2 認定ソフト変更により現時点で未集計のため

(3) ① 要介護認定者(区別)の状況

(平成31年4月1日時点)

単位:人

	川崎区	(川崎)	(大師)	(田島)	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	合 計		(参考) 計画値(30.10.1 時点)	
要支援1	1,249 (13)	629 (7)	309 (2)	311 (4)	1,003 (14)	1,066 (25)	987 (20)	992 (15)	1,117 (18)	931 (13)	7,345 (118)	13.0%	7,334	13.1%
要支援2	1,169 (28)	436 (10)	416 (7)	317 (11)	797 (16)	1,125 (25)	1,143 (24)	1,230 (33)	1,168 (28)	984 (23)	7,616 (177)	13.5%	7,557	13.5%
要介護1	2,475 (53)	1,068 (27)	778 (13)	629 (13)	1,647 (37)	1,411 (31)	1,731 (45)	1,607 (35)	1,682 (43)	1,680 (33)	12,233 (277)	21.6%	12,042	21.5%
要介護2	2,032 (56)	752 (15)	695 (24)	585 (17)	1,193 (39)	1,176 (47)	1,449 (38)	1,562 (49)	1,290 (36)	1,334 (29)	10,036 (294)	17.7%	9,643	17.2%
要介護3	1,544 (38)	592 (15)	511 (14)	441 (9)	901 (19)	850 (31)	1,004 (36)	1,133 (28)	1,014 (30)	913 (18)	7,359 (200)	13.0%	7,151	12.8%
要介護4	1,352 (36)	562 (14)	418 (13)	372 (9)	885 (22)	934 (29)	851 (23)	958 (23)	925 (14)	822 (19)	6,727 (166)	11.9%	6,844	12.2%
要介護5	1,126 (47)	453 (24)	319 (8)	354 (15)	715 (19)	712 (21)	712 (32)	707 (32)	652 (20)	645 (19)	5,269 (190)	9.3%	5,504	9.8%
合 計	10,947 (271)	4,492 (112)	3,446 (81)	3,009 (78)	7,141 (166)	7,274 (209)	7,877 (218)	8,189 (215)	7,848 (189)	7,309 (154)	56,585 (1,422)	100%	56,075 (1,375)	100%

※ () は、第2号被保険者の再掲人数です。

(3) ② 要介護認定者(状態別)の状況

単位:人

区 分		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号 被保険者	計画	7,203	7,378	11,797	9,315	6,984	6,693	5,330	54,700
	実績	7,196	7,284	11,667	9,482	7,099	6,486	5,158	54,372
65歳～ 75歳未満	計画	1,000	1,139	1,609	1,358	883	838	678	7,505
	実績	990	1,076	1,573	1,334	904	728	667	7,272
75歳以上	計画	6,203	6,239	10,188	7,957	6,101	5,855	4,652	47,195
	実績	6,206	6,208	10,094	8,148	6,195	5,758	4,491	47,100
第2号 被保険者	計画	131	179	245	328	167	151	174	1,375
	実績	121	190	255	292	180	167	183	1,388
総数	計画	7,334	7,557	12,042	9,643	7,151	6,844	5,504	56,075
	実績	7,317	7,474	11,922	9,774	7,279	6,653	5,341	55,760
構成比	計画	13.1%	13.5%	21.5%	17.2%	12.8%	12.2%	9.8%	100.0%
	実績	13.1%	13.4%	21.4%	17.5%	13.1%	11.9%	9.6%	100.0%

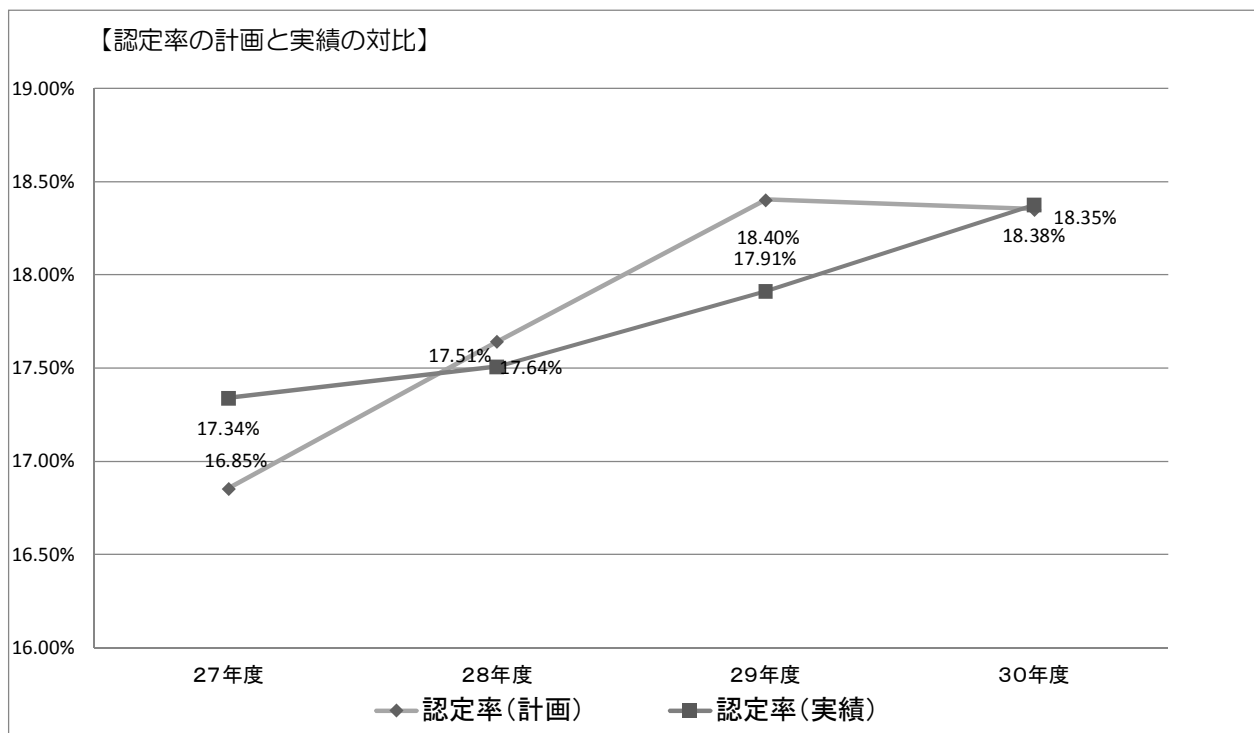
※計画値:平成30年10月1日時点

※実績値:平成30年10月1日時点

(4) 第1号被保険者に占める認定者数（認定率）の推移

	年度		第1号被保険者数（人）	認定者数（人） （第1号被保険者のみ）	認定率
6期	27年度	計画	293,066	49,391	16.85%
		実績	278,139	48,223	17.34%
	28年度	計画	299,023	52,755	17.64%
		実績	285,243	49,942	17.51%
	29年度	計画	304,980	56,124	18.40%
		実績	291,620	52,239	17.91%
7期	30年度	計画	298,046	54,700	18.35%
		実績	295,896	54,372	18.38%

※各年度10月1日時点の数値

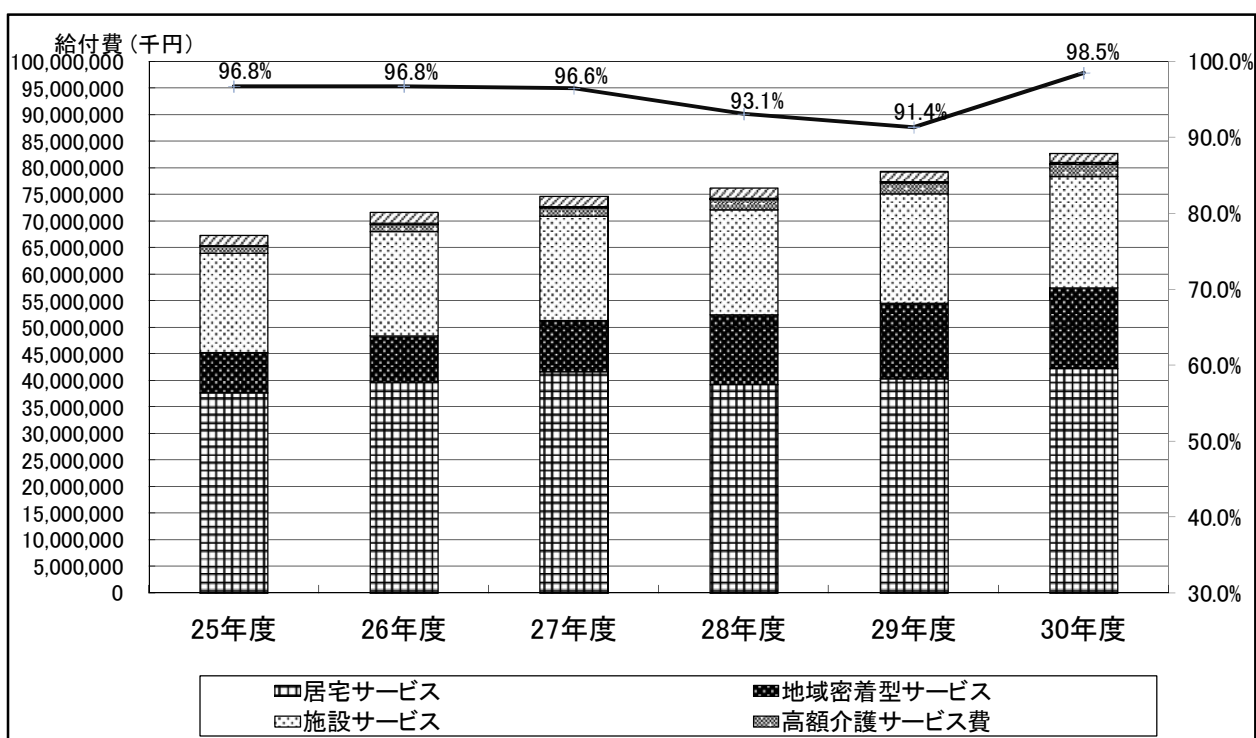


2. 給付費執行状況

(1) 給付費執行状況の推移

単位: 千円

		給付費総額	居宅サービス	地域密着型サービス	施設サービス	高額介護サービス費	高額医療合算介護サービス費	特定入所者介護サービス費
平成25年度	計画	69,594,000	37,924,000	8,028,000	20,480,000	1,183,000	198,000	1,781,000
	実績	67,344,172	37,687,546	7,662,116	18,697,311	1,253,267	190,216	1,853,716
	執行率	96.8%	99.4%	95.4%	91.3%	105.9%	96.1%	104.1%
平成26年度	計画	74,025,209	40,283,302	9,493,751	20,955,583	1,259,375	210,643	1,822,555
	実績	71,671,359	39,813,346	8,669,731	19,632,251	1,352,135	213,028	1,990,868
	執行率	96.8%	98.8%	91.3%	93.7%	107.4%	101.1%	109.2%
平成27年度	計画	77,462,251	43,672,132	9,766,090	20,213,191	1,590,206	228,260	1,992,372
	実績	74,793,029	41,745,651	9,600,461	19,618,675	1,606,719	235,554	1,985,969
	執行率	96.6%	95.6%	98.3%	97.1%	101.0%	103.2%	99.7%
平成28年度	計画	81,859,254	41,838,033	14,821,128	21,108,845	1,828,652	260,578	2,002,018
	実績	76,239,627	39,290,631	13,141,717	19,794,767	1,922,792	236,543	1,853,177
	執行率	93.1%	93.9%	88.7%	93.8%	105.1%	90.8%	92.6%
平成29年度	計画	86,815,983	43,650,622	16,611,520	22,161,940	2,010,098	281,669	2,100,133
	実績	79,353,610	40,431,721	14,232,617	20,552,466	2,041,953	308,717	1,786,136
	執行率	91.4%	92.6%	85.7%	92.7%	101.6%	109.6%	85.0%
平成30年度	計画	84,077,853	42,939,441	15,516,962	21,232,213	2,296,945	297,422	1,794,870
	実績	82,853,142	42,299,945	15,225,172	20,975,417	2,289,687	315,828	1,747,093
	執行率	98.5%	98.5%	98.1%	98.8%	99.7%	106.2%	97.3%



(2) 介護保険給付サービス別状況(平成27～30年度)

	審査月	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度			
		件数	割合①(%)	割合②(%)	金額	件数	割合①(%)	割合②(%)	金額	件数	割合①(%)	割合②(%)	金額	件数	割合①(%)	割合②(%)	金額
1 訪問介護	件数	169,045				151,593				134,157				123,273			
	金額	8,194,334,361		20%		8,003,977,347		20%		8,164,151,170		20%		8,483,526,561		20%	
2 訪問入浴介護	件数	12,590				12,588				12,094				10,818			
	金額	766,830,735		2%		760,628,604		2%		738,118,687		2%		739,994,680		2%	
3 訪問看護	件数	51,438				59,467				65,598				68,866			
	金額	2,149,567,271		5%		2,488,986,786		6%		2,910,833,125		7%		3,213,757,786		8%	
4 訪問リハビリテーション	件数	5,766				5,828				6,132				6,232			
	金額	197,486,161		0%		199,338,404		1%		213,462,628		1%		234,391,849		1%	
5 居宅療養管理指導	件数	197,741				224,842				240,758				255,718			
	金額	1,443,072,544		3%		1,597,466,894		4%		1,778,845,638		4%		2,004,184,058		5%	
6 通所介護	件数	206,675				142,240				116,971				110,423			
	金額	11,402,230,712		27%		8,140,430,088		21%		7,594,540,070		19%		7,820,609,733		18%	
7 通所リハビリテーション	件数	34,019				34,039				34,505				31,872			
	金額	2,195,761,009		5%		2,225,284,825		6%		2,285,981,959		6%		2,174,559,008		5%	
8 短期入所生活介護	件数	25,849				27,089				27,544				25,489			
	金額	1,809,716,303		4%		1,894,886,520		5%		2,005,436,545		5%		1,951,356,022		5%	
9 短期入所療養介護(介護老人保健施設)	件数	3,616				3,802				4,016				3,791			
	金額	289,103,016		1%		307,093,283		1%		334,759,152		1%		353,154,472		1%	
10 短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)	件数	306				164				64				32			
	金額	25,637,660		0%		15,214,423		0%		6,587,675		0%		4,249,247		0%	
11 短期入所療養介護(介護医療院)	件数													0			
	金額			0%				0%				0%		0		0%	
12 福祉用具貸与	件数	200,274				215,722				225,065				223,197			
	金額	2,402,062,509		6%		2,570,602,605		7%		2,729,356,082		7%		2,898,079,530		7%	
13 福祉用具購入費	件数	5,073				4,696				4,570				4,162			
	金額	124,148,592		0%		129,471,440		0%		128,531,642		0%		122,004,362		0%	
14 住宅改修費	件数	3,775				3,456				3,430				3,240			
	金額	312,104,681		1%		312,913,670		1%		301,398,031		1%		291,077,985		1%	
15 特定施設入居者生活介護	件数	37,049				38,038				39,317				38,950			
	金額	6,493,339,744		16%		6,589,593,732		17%		7,106,360,585		18%		7,633,925,032		18%	
16 居宅介護支援・介護予防支援	件数	343,183				334,327				319,352				307,229			
	金額	3,940,256,119		9%		4,054,742,592		10%		4,133,357,739		10%		4,375,602,480		10%	
1～16 居宅(介護予防)サービス 計	件数	1,296,399				1,257,891				1,233,573				1,213,292			
	金額	41,745,651,417	56%	100%		39,290,631,213	52%	100%		40,431,720,728	51%	100%		42,300,472,805	51%	100%	
17 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	件数	2,939				3,038				3,168				3,751			
	金額	440,625,225		5%		444,392,231		3%		498,740,739		4%		655,818,677		4%	
18 夜間対応型訪問介護	件数	4,199				4,331				4,414				4,303			
	金額	87,915,782		1%		96,111,800		1%		103,443,692		1%		108,941,878		1%	
19 地域密着型通所介護	件数					51,800				58,920				56,198			
	金額					3,203,795,681		24%		3,615,613,187		25%		3,549,611,441		23%	
20 認知症対応型通所介護	件数	12,084				12,713				12,428				11,161			
	金額	1,330,072,073		14%		1,385,577,153		11%		1,382,852,027		10%		1,381,852,852		9%	
21 小規模多機能型居宅介護	件数	7,991				8,786				9,299				10,042			
	金額	1,447,581,166		15%		1,573,896,380		12%		1,764,866,925		12%		2,025,651,057		13%	
22 認知症対応型共同生活介護	件数	20,622				21,026				21,752				21,827			
	金額	5,264,282,273		55%		5,328,070,276		41%		5,768,513,799		41%		6,159,946,837		40%	
23 地域密着型特定施設入居者生活介護	件数	0				0				0				0			
	金額	0		0%		0		0%		0		0%		0		0%	
24 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	件数	3,275				3,193				2,963				2,681			
	金額	856,926,074		9%		835,752,318		6%		794,550,373		6%		802,938,417		5%	
25 複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	件数	722				1,212				1,234				2,005			
	金額	173,058,679		2%		274,120,699		2%		304,036,058		2%		540,798,563		4%	
16～25 地域密着型(介護予防)サービス	件数	51,832				106,099				114,178				111,968			
	金額	9,600,461,272	13%	100%		13,141,716,538	17%	100%		14,232,616,800	18%	100%		15,225,559,722	18%	100%	
26 介護老人福祉施設	件数	46,132				48,344				49,328				46,288			
	金額	11,392,919,861		58%		11,803,516,710		60%		12,406,794,357		60%		12,912,086,326		62%	
27 介護老人保健施設	件数	24,017				24,008				24,560				22,619			
	金額	6,409,581,470		33%		6,365,208,028		32%		6,663,962,743		32%		6,746,616,473		32%	
28 介護療養型医療施設	件数	5,112				4,638				4,400				3,394			
	金額	1,816,173,607		9%		1,626,042,264		8%		1,481,709,218		7%		1,316,558,801		6%	
29 介護医療院	件数													1			
	金額			0%				0%				0%		816,017		0%	
25～29 施設サービス 計	件数	75,261				76,990				78,288				72,302			
	金額	19,618,674,938	26%	91%		19,794,767,002	26%	92%		20,552,466,318	26%	93%		20,976,077,617	25%	94%	
30 高額介護サービス費	件数	148,592				170,290				174,885				180,770			
	金額	1,606,719,415		2%	100%	1,922,791,824		3%	100%	2,041,953,248		3%	100%	2,289,686,663		3%	100%
31 高額医療合算介護サービス費	件数	7,149				7,458				8,742				9,054			
	金額	235,554,182		0%	100%	236,542,641		0%	100%	308,716,888		0%	100%	315,827,580		0%	100%
32 特定入所者介護サービス費(食費)	件数	57,897				53,400				53,605				52,779			
	金額	1,367,851,783		69%		1,187,462,995		64%		1,135,475,664		64%		1,116,863,788		64%	
33 特定入所者介護サービス費(居住費・滞在費)	件数	35,013				42,898				43,155				42,427			
	金額	618,117,202		31%		665,714,440		36%		650,660,684		36%		630,229,146		36%	
32～33 特定入所者介護サービス費 計	件数	92,910				139,196				96,760				95,206			
	金額	1,985,968,985		3%	100%	1,853,177,435		2%	100%	1,786,136,348		2%	100%	1,747,092,934		2%	100%
合 計	件数	1,672,143				1,757,924				1,706,426				1,682,592			
	金額	74,793,030,209		100%		76,239,626,653		100%		79,353,610,330		100%		82,854,717,321		100%	

【出典】各年度の介護保険事業状況報告(年報)

川 崎 市 介 護 保 険 運 営 協 議 会
地域密着型サービス等部会（第46回）報告

- 1 日時：令和元年5月30日（木）午前10時00分～11時00分
会場：ソリッドスクエア 西館10階第10E会議室

2 議題

- (1) (介護予防) 認知症対応型共同生活介護の内定申請受付結果について
- (2) 令和元年度第1回地域密着型（介護予防）サービスの内定について
- (3) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の指定について
- (4) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の更新について
- (5) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の休止・廃止等について
- (6) その他

3 議題の詳細について

- (1) (介護予防) 認知症対応型共同生活介護第7期第3回の内定申請受付結果について
「第7期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づく（介護予防）認知症対応型共同生活介護の内定申請の受付結果について報告し、今後の対応案について審議しました。

＜申請状況と結果＞

内定予定ユニット数：14 ユニット

サービス種類	申請法人数	申請件数 (ユニット数)	内定 (ユニット数)
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	1 法人	1 事業所 (3 ユニット)	1 事業所 (3 ユニット)

※残り 11 ユニットについては、再度募集することとしました。

- (2) 令和元年度第1回地域密着型（介護予防）サービスの内定について
介護保険サービス事業者から地域密着型サービスに係る内定申請がありましたので、申請状況等について説明しました。

＜申請状況と結果＞

(令和2年11月1日までの開設分)

サービス種類	申請法人数	申請件数	内定
認知症対応型共同生活介護	1 法人	1 事業所	1 事業所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 法人	1 事業所	1 事業所
地域密着型通所介護	2 法人	2 事業所	2 事業所

- (3) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の指定について
平成31年3月から令和元年5月にかけて新たに指定を行った事業所について報告しました。
- (4) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の更新 について
平成31年3月から令和元年5月にかけて指定更新を行った事業所及び令和元年6月から令和元年8月にかけて指定更新を行う予定の事業所について報告しました。
- (5) 地域密着型（介護予防）サービス事業所の廃止・休止等について
平成31年2月から平成31年4月にかけて廃止の届出があった事業所について報告しました。
- (6) その他
特になし

改正

平成17年12月28日規則第137号

平成18年3月31日規則第63号

平成19年3月30日規則第46号

平成21年4月28日規則第44号

平成24年3月30日規則第31号

平成27年3月31日規則第37号

川崎市介護保険運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市介護保険条例（平成12年川崎市条例第25号）第5条の2第3項の規定に基づき、川崎市介護保険運営協議会（以下「運営協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員の任期)

第2条 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第3条 運営協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、運営協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 運営協議会は会長が招集し、会長はその会議の議長となる。

2 運営協議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第5条 運営協議会に地域密着型サービス等部会を置き、次に掲げる事項を調査審議する。

(1) 介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）第42条の2第1項本文の指定に関すること。

- (2) 法第42条の2第4項の規定により市が定める地域密着型介護サービス費の額に関する事。
- (3) 法第54条の2第1項本文の指定に関する事。
- (4) 法第54条の2第4項の規定により市が定める地域密着型介護予防サービス費の額に関する事。
- (5) 法第78条の4第1項、第2項及び第5項の規定により市が定める指定地域密着型サービスに従事する従業者に関する基準、当該従業者の員数並びに指定地域密着型サービスの事業の設備及び運営に関する基準に関する事。
- (6) 法第115条の14第1項、第2項及び第5項の規定により市が定める指定地域密着型介護予防サービスに従事する従業者に関する基準、当該従業者の員数、指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の設備及び運営に関する基準に関する事。
- (7) 法第70条第6項の意見に関する事。

2 部会に属すべき委員は、運営協議会の委員のうちから会長が運営協議会に諮って指名するものとする。

- 3 部会に部会長及び副部会長各1人を置き、部会に属する委員の互選により定める。
- 4 部会長は、部会の会務を掌理する。
- 5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 6 部会の会議については、前条の規定を準用する。

(庶務)

第6条 運営協議会の庶務は、健康福祉局において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、運営協議会の運営について必要な事項は、会長が運営協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

(中略)

附 則 (平成27年3月31日規則第37号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

令和元年度 川崎市高齢者実態調査項目案

①	一般高齢者調査	P 1～P18
②	要支援・要介護認定者調査	P19～P38
③	特別養護老人ホーム入居希望者調査	P39～P48
④	居宅介護支援事業者調査	P49～P60
⑤	居宅介護サービス事業者調査	P61～P74
⑥	介護保険施設等調査	P75～P90
⑦	介護労働者調査（サンプル資料）	P91～P109

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
1	この調査に回答していただく方は、どなたですか。	1. 本人(代筆可) 2. 家族 3. その他	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
2	あなた(あて名の本人)のことについて、ご回答ください。 性別	1. 男性 2. 女性	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
3	年齢	1. 65歳～69歳 2. 70歳～74歳 3. 75歳～79歳 4. 80歳～84歳 5. 85歳～89歳 6. 90歳以上	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
4	お住まいの区	1. 川崎区 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区 5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
5	あなたの家族の状況について、ご回答ください。	1. 一人暮らし高齢者 2. 夫婦世帯(本人とその配偶者のみ) 3. 子や孫など同居 4. 配偶者の父や母 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
6	あなたの同居の家族の中には、身のまわりの手助けや見守りを必要とする人がいますか。	1. いない 2. 自分(あてなの本人)の配偶者 3. 自分(あてなの本人)の父や母 4. 配偶者の父や母 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
7	手助けや見守りを必要とする方は、介護保険の認定を受けていますか。	1. 受けている 2. 受けていない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
8	あなたが主に手助けや見守りをしていますか。	1. している 2. していない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
9	あなたの現在のお住まいは次のどれですか。	1. 持ち家・一戸建て 2. 持ち家・集合住宅 3. 借家・一戸建て 4. 借家・集合住宅 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
10	現在のお住まいで、使いにくいところがありますか。	1. 玄関 2. 浴そう・浴室 3. 洗面所 4. 台所 5. トイレ 6. 廊下 7. 階段 8. 居室 9. その他 10. 特にない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
11	あなたは、現在の生活に「はり」や「楽しみ」を感じていますか。	1. とても感じる 2. まあ感じる 3. 普通 4. あまり感じない 5. まったく感じない	総合計画 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
変更 12	次の項目について、あなたが自分一人で行えること・していることはありますか。	1. バスや電車を使った外出 2. 日用品の買い物 3. 自分の食事の用意 4. 請求書の支払 5. 本や雑誌を読むこと 6. 健康についての記事や番組に関心をもつこと 7. 友人との交際 8. 家族や親族の相談にのること 9. 病人を見舞うこと 10. 若い人に自分から話しかけること 11. 預貯金の出し入れ 12. 車・バイクの運転 13. 自転車の運転	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	ニーズ調査 問4 を参照に変更
追加 13	身長・体重	身長 cm 体重 kg		ニーズ調査 問3-1
変更 14	あなたの健康状態はいかがですか。	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	ニーズ調査 問7-1 第1回 協議内容
15	あなたは、ご近所にかかりつけ医がいますか。	1. いる 2. いない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
16	あなたの身体の状態について、ご回答ください。 現在自分の歯は何本ありますか。 ※永久歯の歯の本数は、親知らずを除いて28本(親知らずを含めると32本)あります。	1. ある()本 2. 自分の歯はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加 17	入れ歯を利用していますか。	1. 利用している 2. 利用していない		ニーズ調査 問3-6 第1回 協議内容
追加 18	入れ歯を利用している方に伺います、毎日手入れをしていますか。	1. 毎日手入れしている 2. 毎日手入れしていない		ニーズ調査 問3-6 第1回 協議内容
変更 19	お口の状態について教えてください。	1. 噛みづらいことがある 2. 食べ物や水でむせることがある 3. 乾いていると感じることがある 4. 食べ物を飲み込みにくいことがある 5. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった 6. 歯周病(歯槽膿漏)がある 7. 歯磨き(人にやってもらう場合を含む)を毎日している	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	ニーズ調査 問3-2 問3-5
20	目はどの程度見えますか。※眼鏡を使用していてもかまいません	1. 普通に見える 2. 少し見えにくい 3. かなり見えにくい 4. ほとんど見えない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
21	耳はどの程度聞こえますか。	1. 補聴器なしでも普通に聞こえる 2. 大声または補聴器をつけて普通に聞こえる 3. 補聴器をつけているが聞こえにくい、あまり聞こえない 4. ほとんど聞こえない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加 22	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない		ニーズ調査 問2-1
追加 23	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない		ニーズ調査 問2-2
追加 24	15分くらい続けて歩いていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない		ニーズ調査 問2-3
追加 25	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 一度ある 3. ない		ニーズ調査 問2-4
追加 26	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない		ニーズ調査 問2-5 第1回 協議内容
27	あなたは、1週間のうちどのくらい外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1～2日 3. 週3～4日 4. ほぼ毎日	総合計画 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
28	前問で、「2」から「4」と答えた方におうかがいします。主な外出先(外出理由)について、ご回答ください。	1. 買い物 2. 友人宅 3. 散歩 4. 運動(ウォーキングや体操など) 5. 趣味のサークルや教室 6. ボランティアなど地域の活動 7. 仕事 8. 通院 9. その他	H25実態調査 H28実態調査	
29	あなたは、昨年に比べて外出頻度はどうなりましたか。	1. 減った 2. 変わらない 3. 増えた 4. わからない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 30	あなたは現在、治療中の病気が次の中にありますか。	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症（脂質異常） 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） 11. 外傷（転倒、骨折等） 12. がん（新生物） 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他（ ）	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	ニーズ調査 問7-6 第1回 協議内容
31	あなたは、日ごろご自分の健康状態を確認していますか。	1. 特定の病院に通院して検査を受けたり医師と相談したりしている 2. 特定の歯科医（かかりつけ歯科医）に歯の検査を受けたり相談している 3. 定期的に健康診断を受けている 4. 定期的ではないが、健康診断を受けることがある 5. 体調によって医師にみてもらっている 6. 自分で体温や血圧、体重などを測ったりして、チェックしている 7. その他 8. 特に確認していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
32	前問で「1」から「5」と答えた方におうかがいします。どのように対応しましたか。	1. 指導されたことを、忠実に実行している 2. 指導されたことを、自分に合うように変えて実行している 3. 指導されても、実行したりしなかったりしている 4. その他、5. 特に指導がなかった	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
33	がん検診を定期的に受診していますか。	1. 定期的に受診している 2. 受診しているが、定期的ではない 3. 受診していない	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
削除	日ごろ身体を動かす運動をしていますか。	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回程度 3. 1週間に1回程度 4. 1か月に1回程度 5. 年に数回程度 6. ほとんどしていない	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	他調査にて類似項目があるため
34	あなたは現在、収入がともなう仕事をしていますか。	1. している 2. していない	総合計画 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
35	あなたは、今後収入がともなう仕事をしたい(続けたい)と思いますか。	1. 仕事をしたい(続けたい)、 2. 都合のつく時のみ仕事をしたい(続けたい) 3. 仕事をしたくない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
36	あなたは、近隣の方やボランティアなど、家族以外の方との交流がありますか。	1. 近隣の方との定期的な行き来がある 2. 友人との定期的な行き来がある 3. ボランティアの訪問がある 4. 地域の行事や活動に参加している 5. 老人クラブや趣味の団体に入っている 6. その他 7. 特に交流はない	H13実態調査 H16実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
37	あなたは、同居の親族以外の人とどの程度お話をする機会がありますか。	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回程度 3. 1週間に1回程度、 4. 1か月に1回程度 5. 年に数回程度 6. ほとんどしていない	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
38	あなたは、さまざまな活動をするのに、市からどのような援助を希望しますか。	1. 身近な所で活動できる場所の確保 2. 地域活動等のリーダー養成 3. ボランティアグループへの活動費の援助 4. 組織活動を指導してくれる助言者の確保 5. 様々な情報提供の窓口の設置 6. コミュニティバスなど移動手段の確保 7. 高齢者の経験や技能・技術を教える場づくり 8. 高齢者が働きやすい就業の場の確保 9. 老人クラブの活動への支援 10. 役所の縦割りをなくした一体的取組 11. その他 12. わからない 13. 特にない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
39	あなたは現在、どのような不安や困りごとがありますか。	1. 身体が衰えて日常生活に不都合があること 2. ひとりで外出すること 3. 毎日の食事のため、買い物や調理をすること 4. 金銭管理や財産保全に関すること 5. 発作など緊急時に救急車を呼ぶこと 6. 困りごとを相談する場所がよく分からないこと 7. 気軽な話し相手がいないこと 8. 友人や地域の人との交流が減って孤独に感じること 9. その他 10. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
40	あなたは、高齢者虐待を見つけた場合の通報・相談窓口が区役所や地域包括支援センターにあることを知っていますか。	1. 知っている 2. 知らない	H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
41	日常生活について、金銭的な負担感の大きいものはどれですか。	1. 食費 2. 住居費(住宅ローン、家賃) 3. 光熱水費 4. 被服費、 5. 社会保険料(健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険など) 6. 介護サービス利用料 7. 医療費 8. 税金(住民税、所得税等) 9. その他	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
42	介護保険制度や介護保険サービスに関して、あなたが知りたい情報は何か。	1. 利用できるサービスの種類や内容について 2. サービス事業者を選ぶのに参考となる情報について 3. 保険料や利用者負担について 4. 介護保険の申請・手続きの際の相談先について 5. サービスについての苦情や相談窓口の情報について 6. その他 7. 特に知りたい情報はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
43	現在、あなたが払っている川崎市の介護保険料をどう感じますか。	1. 高い 2. やや高い 3. 妥当 4. やや安い 5. 安い	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
44	「介護保険制度」では、介護サービスを受けたときに、1割、2割または3割の自己負担を必要としています。この自己負担をどのように考えますか。	1. 充実したサービスを受けるためには、負担は多くても構わない 2. サービスを受けることができれば、負担は止むを得ない 3. サービスを受けることができて、負担は最小限にしてほしい 4. サービスは、すべて公的負担(税金)で提供してほしい 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	45	あなたは、日常生活上どのような情報がほしいですか。	1. 趣味・サークルの情報 2. ボランティアなどの活動情報 3. 教養講座など自己啓発の情報 4. スポーツ、レクリエーションの情報 5. 仲間づくりの情報 6. 地域活動している人の情報 7. 学校、町内会など身近な地域の取り組みの情報 8. 就業、起業(仕事を起こす)の情報 9. 健康づくりの情報、 10. その他 11. 特にほしい情報はない	H13実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
削除		高齢者福祉や介護保険などの情報を主にどこから得ていますか。	1. 家族・親戚 2. 友人・近所の人 3. テレビ 4. ラジオ 5. インターネット 6. 新聞・雑誌 7. 市政だより 8. 市の広報冊子 9. 区役所 10. その他	H13実態調査 H28実態調査	広報媒体調査として、インターネットの普及等についてはH28の調査で確認できたため

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 46	あなたは、以下の事業やサービスについて知って(利用して)いますか。	1. 地域包括支援センター 2. 緊急通報システム 3. 日常生活用具給付(自動消火器、電磁調理器) 4. 高齢者外出支援サービス事業(おでかけGo!) 5. 訪問理美容サービス、6. 紙おむつの給付 7. 寝具乾燥 8. 要介護者生活支援ヘルパー派遣事業 9. 高齢者住宅改造費助成 10. 川崎市在宅寝たきり高齢者歯科診療 11. 成年後見制度 12. 金銭管理などの日常生活自立支援事業 13. 小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護含む) 14. 夜間対応型訪問介護 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 16. 療養通所介護、 17. 認知症コールセンター～サポートほっと～(認知症発症初期相談窓口)、 18. 徘徊高齢者発見システム、19. 徘徊高齢者SOSネットワーク事業、 20. いこいの家(老人いこいの家)、 21. いきいきセンター(老人福祉センター・地域交流センター)、 22. 傾聴講座(NPO法人と市が協働実施)、23. パソコン教室、 24. シニアライフ講演会、25. すこやか福寿手帳、 26. 認知症サポーター等養成講座、27. 介護予防いきいき大作戦、 28. いこい元気広場、29. 介護予防・日常生活支援総合事業、 30. 健幸福寿プロジェクト 31. 認知症訪問支援事業(認知症初期集中支援推進事業)	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	第1回 協議内容
変更 47	あなたは、いこいの家(老人いこいの家)やいきいきセンター(老人福祉センター・地域交流センター)をどのようなことで利用したいと思いますか。	1. 趣味等の講座の受講 2. 趣味や娯楽等のグループでの活動の場、 3. 介護予防の場(ミニデイサービスなどの福祉の拠点) 4. 多世代交流・地域交流の場 5. 福祉団体の活動の場 6. その他 7. 特に利用したいとは思わない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 48	「特に利用したいとは思わない」と答えた方にお伺いします。 その理由について、ご回答ください。	1. いこいの家などがどのような施設か知らないため 2. 近くにいこいの家がないため 3. いこいの家などの利用者が多く、利用できないため 4. いこいの家などの利用者に知り合いがいないため 5. いこいの家などの建物が老朽化しているため 6. いこいの家などの講座や活動などに魅力を感じないため 7. 他に利用したい・している施設があるため 8. 利用する必要性を感じないため 9. その他	H28実態調査	第2回協議内容
変更 49	70歳以上の方におうかがいします。 あなたは9月中に、高齢者特別乗車証明書(大人料金の半額に割引)を使って、何回くらい市営・民営バスに乗車しましたか。 なお、1乗車1回とカウントしてください。(下図例参照のこと) 例 	1. 9月は()回程度利用した 2. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
変更 50	あなたは9月中に、高齢者フリーパス(1か月あたり、1,000円を負担し、期間中は何度でも乗車できる)を使って、何回くらい市営・民営バスに乗車しましたか。 なお、1乗車1回とカウントしてください。(上記例参照のこと)	1. 9月は()回程度利用した 2. 利用していない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
51	現在、高齢者特別乗車証明書(大人料金の半額に割引)、高齢者フリーパス(1か月あたり、1,000円を負担し、期間中は何度でも乗車できる)の制度は、市税で一部を負担していますが、利用者の負担金をどのように考えますか。	1. 高い 2. やや高い 3. 妥当 4. やや安い 5. 安い	H16実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
変更 52	高齢者人口の増加に伴い、この高齢者特別乗車証明書(大人料金の半額に割引)、高齢者フリーパス(1か月あたり、1,000円を負担し、期間中は何度でも乗車できる)の制度は、年々、財政負担が増加しています。今後、この制度をどうしたら良いと思いますか	1 財政負担にかかわらず、今のままの制度内容で、今後も継続したほうがよい 2 利用者負担の増加や制度内容の見直しをおこない、今後も継続したほうがよい 3 この制度をやめて、他の高齢者施策を充実したほうがよい	H25実態調査 H28実態調査	第2回協議内容

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
53	「介護予防」とは、要介護状態(寝たきり)にならないようにするための取組みですが、知っていますか。	1. 知っている、2. 知らない	H25実態調査 H28実態調査	
54	あなたは、介護予防の取組みで、何か実践していることがありますか。	1. バランスの良い食事 2. 口腔内のケア 3. 体操やウォーキングなどの運動 4. 友人や近隣との交流(閉じこもらない) 5. ボランティアや町内会自治会、民生委員活動などの地域の活動に参加 6. その他 7. 特にない	総合計画 H25実態調査 H28実態調査	
55	前問で「1」から「6」と答えた方におうかがいします。取組を通して、どのような効果を感じていますか。	1. 生活にはりができた 2. 意欲がわくようになった 3. 新しい友人ができた 4. 体調が良くなった 5. その他 6. 特に効果は感じていない	H25実態調査 H28実態調査	
削除	「7」と答えた方におうかがいします。介護予防の取組みをしていない理由について、ご回答ください。	1. 情報がない(どこで何をやっているのか分からない) 2. 病気のため 3. 体力に自信がない 4. 人と関わるのがおっくう 5. やりたいと思うことがない 6. 自分には必要ない 7. その他	H25実態調査 H28実態調査	他調査にて類似項目があるため
56	今後、介護予防に取組みたいと思いますか。	1. 積極的に取り組みたいと思う 2. 誰かと一緒ならやってもよい 3. 機会があればやりたい 4. 今はまだ必要と思わない 5. その他	H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
57	どのようなきっかけで、健康づくり・介護予防に取り組もうと思いますか(取り組み始めましたか)	1. 身体の調子が悪くなってきたと自覚して 2. 健康診断の結果を見て(医者に言われたから) 3. パンフレットやCM・TVを見て 4. 参加特典(ポイントや景品など)がもらえるなら 5. 家族や友人・知人に誘われたから	H28実態調査	
追加 58	地域での活動について 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(老人クラブ・町内会・自治会の活動をのぞきます)※①～④それぞれに回答してください ①ボランティアグループ ②スポーツ関係のグループやクラブ ③趣味関係のサークル ④学習・教養サークル	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		ニーズ調査 問5-1
59	今から数年後(概ね5年後)の地域社会との関わりについて、ご回答ください。	1. 地域で何らかの活動の中心的役割を果たしている 2. 特に目立った存在ではないが、他の世代も含め広く交流している 3. 近隣の方とだけつきあえる生活をしている 4. ほとんど地域とは関わりがない 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
60	あなたは、介護が必要になった場合、どのようにしたいですか。	1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい 2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らした、 3. 少人数で生活できる介護つきホーム(住宅)で暮らしたい 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい 5. 民間の介護つき有料老人ホームに入りたい 6. 病院に入院したい 7. その他 8. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
61	前問で「3」から「6」と答えた方におうかがいします。なぜ自宅以外で生活したいとお考えですか。	1. 一人暮らしや高齢者のみの世帯で自宅での生活に不安を感じるから 2. 自宅で受けられる介護サービスが不十分だから 3. 家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから 4. 緊急時の対応の面で安心だから 5. 家族に迷惑をかけたくないから 6. 専門的な介護が受けられるから 7. 介護のための部屋がない、入浴ににくいなど住宅の構造に問題があるから 8. その他 9. わからない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加 62	あなたは、人生の最終段階における医療・介護について、ご家族の方と話し合っていますか。	1. 詳しく話し合っている 2. 一応話し合っている 3. 話し合ったことはない		
63	あなたは、成年後見制度を知っていますか。 ※成年後見制度・・・認知症の高齢者の方や、知的障害、精神障害により判断能力が十分でない方の財産管理や身上監護を本人に代わって法的に権限を与えられた後見人等が行い、安心して生活が送れるように、本人の保護や支援を行なう制度です。	1. おおむね制度について知っている 2. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない 3. 知らない	H28実態調査	
64	川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。 あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものについて、ご回答ください。 ※「地域包括ケアシステム」とは… 誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、医療や介護、福祉などの必要なサービスが切れ目なく提供される仕組みと地域づくりの取組のことであり、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体で取り組むことが大切です。 市民一人ひとりの行動としては、健康づくりやいきがづくり、地域活動などに取り組むことなどが挙げられます。	1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかわかっている、具体的に行動している 2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない 3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない 4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない 5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない	総合計画 H28実態調査	

一般高齢者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
65	最後に、介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについて、ご意見があればお聞かせください。	1. 介護保険制度全般について 2. 介護保険料について 3. 介護認定について 4. 在宅サービスについて 5. 施設サービス 6. 介護人材について 7. 情報提供について 8. 市への要望・意見等について 9. 経済的負担について 10. 将来への不安・悩みについて 11. アンケート調査について 12. ケアマネジャーについて 13. 家族介護について 14. その他	H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
1	この調査に回答していただく方は、どなたですか。	1. 本人(代筆可) 2. 家族 3. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
2	あなた(あて名の本人)のことについて、ご回答ください。 性別	1. 男性 2. 女性	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
3	年齢	1. 65歳～69歳 2. 70歳～74歳 3. 75歳～79歳 4. 80歳～84歳 5. 85歳～89歳 6. 90歳以上	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
4	お住まいの区	1. 川崎区 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区 5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
5	あなた(あて名の本人)の家族の状況について、ご回答ください。	1. 一人暮らし高齢者 2. 夫婦世帯(本人とその配偶者のみ) 3. 子や孫など同居 4. その他の世帯	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	6	あなた(あて名の本人)の現在のお住まいは次のどれですか。	1. 持ち家・一戸建て 2. 持ち家・集合住宅 3. 借家・一戸建て 4. 借家・集合住宅 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	7	現在のお住まいで、使いにくいところがありますか。	1. 玄関 2. 浴そう・浴室 3. 洗面所 4. 台所 5. トイレ 6. 廊下 7. 階段 8. 居室 9. その他 10. 特にない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	8	あなたの身体の状態について、ご回答ください。 現在自分の歯は何本ありますか。	1. ある()本 2. 自分の歯はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加	9	入れ歯を利用していますか。	1. 利用している 2. 利用していない		ニーズ調査 問3-6
追加	10	入れ歯を利用している方に伺います、毎日手入れをしていますか。	1. 毎日手入れしている 2. 毎日手入れしていない		ニーズ調査 問3-6

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 11	お口の状態について教えてください。	1. 噛みづらいことがある 2. 食べ物や水でむせることがある 3. 乾いていると感じることがある 4. 食べ物を飲み込みにくいことがある 5. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった 6. 歯周病(歯槽膿漏)がある 7. 歯磨き(人にやってもらう場合を含む)を毎日している	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	ニーズ調査 問3-2 問3-5
12	歯科診療先について教えてください。	1. 市内の歯科医院 2. 市内の歯科保健福祉センター 3. 市外の歯科医院 4. 往診診療 5. 治療していない	H28実態調査	
13	目はどの程度見えますか ※眼鏡を使用していてもかまいません。	1. 普通に見える 2. 少し見えにくい 3. かなり見えにくい 4. ほとんど見えない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
14	耳はどの程度聞こえますか。	1. 補聴器なしでも普通に聞こえる、 2. 大声または補聴器をつけて普通に聞こえる 3. 補聴器をつけているが聞こえにくい、あまり聞こえない、 4. ほとんど聞こえない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加 15	あなたは現在、治療中の病気が次の中にありますか。	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒、骨折等) 12. がん(新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他()		ニーズ調査 問7-6
16	あなた(あて名の本人)は、ご近所にかかりつけ医がいますか。	1. いる 2. いない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
17	あなた(あて名の本人)は、現在の生活に「はり」や「楽しみ」を感じていますか。	1. とても感じる 2. まあ感じる 3. 普通 4. あまり感じない 5. 感じない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
18	あなた(あて名の本人)は、近隣の方やボランティアなど、家族以外の方との交流がありますか。	1. 近隣の方との定期的な行き来がある 2. 友人との定期的な行き来がある 3. ボランティアの訪問がある 4. 地域の行事や活動に参加している 5. 老人クラブや趣味の団体に入っている 6. その他 7. 特に交流はない	H13実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
19	日常生活について、金銭的な負担感の大きいものはどれですか。	1. 食費 2. 住居費(住宅ローン、家賃) 3. 光熱水費 4. 被服費 5. 社会保険料(健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険など) 6. 介護サービス利用料 7. 医療費 8. 税金(住民税、所得税など) 9. その他	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
20	介護保険制度や介護保険サービスに関して、あなた(あて名の本人)が知りたいと思う情報について、ご回答ください。	1. 利用できるサービスの種類や内容について、 2. サービス事業者を選ぶのに参考となる情報について、 3. 保険料や利用者負担について、 4. 介護保険の申請・手続きの際の相談先について、 5. サービスについての苦情や相談窓口の情報について、 6. その他 7. 特に知りたい情報はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
削除		高齢者福祉や介護保険などの情報を主にどこから得ていますか。	1. 家族・親戚 2. 友人・近所の人 3. テレビ 4. ラジオ 5. インターネット 6. 新聞・雑誌 7. 市政だより 8. 市の広報冊子 9. 区役所 10. その他	H28実態調査	
	21	現在、あなた(あて名の本人)が払っている川崎市の介護保険料をどう感じますか。	1. 高い 2. やや高い 3. 妥当 4. やや安い 5. 安い	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	22	「介護保険制度」では、介護サービスを受けたときに、1割、2割または3割の自己負担を必要としています。この自己負担をどのように考えますか。	1. 充実したサービスを受けるためには、負担は多くても構わない、 2. サービスを受けることができれば、負担は止むを得ない、 3. サービスを受けることができて、負担は最小限にしてほしい、 4. サービスは、すべて公的負担(税金)で提供してほしい 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	23	あなた(あて名の本人)は、要介護認定の結果について納得していますか。	1. 納得している 2. おおむね納得している 3. あまり納得していない 4. 納得していない 5. どちらとも言えない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
24	現在利用している在宅サービスの満足度について、ご回答ください。 なお、お使いのサービスがご不明な場合は、お手元の契約書をご覧ください。 ケアプラン	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H16実態調査 H28実態調査	
25	ホームヘルプサービス(訪問介護)	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
26	夜間対応型訪問介護	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
27	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	28	訪問入浴	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	29	訪問看護	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	30	訪問リハビリテーション	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	31	居宅療養管理指導(訪問診療、訪問歯科、訪問薬剤)	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	32	小規模多機能型居宅介護	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	33	看護小規模多機能型居宅介護	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H25実態調査 H28実態調査	
	34	デイサービス(通所介護)(認知症対応型を含む)	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	35	デイサービス(療養通所介護)	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	36	デイケア(通所リハビリテーション)	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	37	ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護)	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	38	福祉用具貸与・購入	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	39	住宅改修(手すりの設置など)	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	40	サービスの利用全体について	1. とても満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. 利用していない	総合計画 H25実態調査 H28実態調査	
変更	41	現在、在宅サービスを全く利用していない方は、理由についてご回答ください。	1. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所しているから 2. 老人保健施設(介護老人保健施設)に入所しているから 3. 介護療養型医療施設(介護保険適用の病院等)に入所しているから 4. 認知症高齢者グループホームに入所しているから 5. 有料老人ホームに入所しているから 6. 病院に入院しているから 7. 自分で生活できるから 8. 家族が介護してくれるから 9. 他人を家に入れたくないから 10. 利用料が高いから 11. 希望するサービスがないから 12. サービスの質に疑問があるから 13. 施設の空きが出るのを待っているから 14. サービス利用のための手続きがわからなかったから 15. 要介護認定をうけたばかりだから 16. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 17. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	在宅介護調査問10を参照に変更
	42	あなた(あて名の本人)、またはご家族の意向が、ケアプランに反映されていると思いますか。	1. 反映されている 2. おおむね反映されている 3. あまり反映されていない 4. 反映されていない 5. どちらとも言えない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	43	ご本人やご家族の希望で、ケアマネジャーを替えたことがありますか。	1. 替えたことがある 2. 替えたいと思っている 3. 今のままでよい	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
削除	現在利用しているサービス事業者(ホームヘルプやデイサービスなど)を選んだ理由について、ご回答ください。	1. 以前から利用しているから 2. 評判が良いから 3. ケアマネジャーにすすめられたから 4. 事業者の知名度が高いから 5. 事業所の場所が近いから 6. 相談したときの対応がていねいだったから 7. 資格をもった人がたくさんいたから 8. その他 9. 特に理由はない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
44	以下のサービスの中で、あなた(あて名の本人)やご家族の生活改善に最も役に立ったサービスはどれですか。	1. ホームヘルプサービス(訪問介護) 2. 夜間対応型訪問介護 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリテーション 7. 居宅療養管理指導 8. 小規模多機能型居宅介護 9. 看護小規模多機能型居宅介護 10. デイサービス(通所介護)(認知症対応型も含む) 11. デイサービス(療養通所介護) 12. デイケア(通所リハビリテーション) 13. ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) 14. 福祉用具貸与・購入(車いすやポータブルトイレなどの貸与、購入) 15. 住宅改修(手すりの設置など) 16. わからない 17. 特にない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 45	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス含む)について、ご回答ください	1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない) 5. ゴミ出し 6. 外出同行(通院、買い物など) 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 特になし	H28実態調査	在宅介護調査問12を参照に変更
46	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。 施設とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(介護付き有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。	1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている	H28実態調査	
47	制度の内容や受けているサービスについて、あなた(あて名の本人)がもっとも相談しやすいところはどこですか。	1. 区や市の窓口 2. ケアマネジャー 3. 地域包括支援センター 4. 民生委員やまちかど介護相談窓口など 5. かかりつけ医 6. サービス事業者(ホームヘルプ、デイサービス、訪問看護など) 7. 介護サービス担当者(ホームヘルパーや訪問看護師など) 8. 介護相談員 9. その他 10. 特になし	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
48	今後、介護保険制度をより良いものにしていくために、どのようなことについて、改善してほしいと思いますか。	1. 要介護認定の方法 2. サービスを使える金額 3. ケアマネジャーの質 4. サービス事業者の質 5. サービス事業者の増加 6. 制度や事業者についての情報提供 7. 申請や契約等の事務手続 8. 利用者負担や保険料負担 9. 苦情や相談を気軽にできる窓口 10. その他 11. 特にない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 49	あなた(あて名の本人)は、以下の事業やサービスについて知って(利用して)いますか。	1. 地域包括支援センター 2. 緊急通報システム、 3. 日常生活用具給付(自動消火器、電磁調理器) 4. 高齢者外出支援サービス事業(おでかけGo!) 5. 訪問理美容サービス 6. 紙おむつの給付 7. 寝具乾燥 8. 要介護者生活支援ヘルパー派遣事業 9. 高齢者住宅改造費助成 10. 川崎市在宅寝たきり高齢者歯科診療 11. 成年後見制度 12. 金銭管理などの日常生活自立支援事業、 13. 小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護含む) 14. 夜間対応型訪問介護 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 16. 療養通所介護 17. 認知症コールセンター～サポートほっと～(認知症発症初期相談窓口)、 18. 徘徊高齢者発見システム 19. 徘徊高齢者SOSネットワーク事業 20. いこいの家(老人いこいの家) 21. いきいきセンター(老人福祉センター・地域交流センター)、 22. 傾聴講座(NPO法人と市が協働実施) 23. パソコン教室 24. シニアライフ講演会 25. すこやか福寿手帳 26. 認知症サポーター等養成講座 27. 介護予防いきいき大作戦 28. いこい元気広場 29. 介護予防・日常生活支援総合事業 30. 健幸福寿プロジェクト 31. 認知症訪問支援事業(認知症初期集中支援推進事業)	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	第1回 協議内容
変更 50	70歳以上の方におうかがいします。 あなたは9月中に、高齢者特別乗車証明書(大人料金の半額に割引)を使って、何回くらい市営・民営バスに乗車しましたか。 なお、1乗車1回とカウントしてください。(下図例参照のこと) 例 ※上記例の場合は、3回とカウントしてください。	1. 9月は()回程度利用した 2. 利用していない	H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

	No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更	51	あなたは9月中に、高齢者フリーパス(1か月あたり、1,000円を負担し、期間中は何度でも乗車できる)を使って、何回くらい市営・民営バスに乗車しましたか。 なお、1乗車1回とカウントしてください。(上記例参照のこと)	1. 9月は()回程度利用した 2. 利用していない	H25実態調査 H28実態調査	
変更	52	ここからはすべての方におうかがいします。 自宅での生活であなたが最もお困りのことについて、ご回答ください。	1. トイレ(排泄) 2. 入浴 3. 食事 4. 移動(移乗) 5. 金銭管理 6. 薬の内服 7. 買い物 8. 掃除 9. 洗濯 10. その他	H28実態調査	
	53	あなた(あて名の本人)は今後、どのようにしたいですか。	1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい 2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい 3. 少人数で生活できる介護つきホーム(住宅)で暮らしたい 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい 5. 民間の介護つき有料老人ホームに入りたい 6. 病院に入院したい 7. その他 8. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加	54	あなたは、人生の最終段階における医療・介護について、ご家族の方と話し合っていますか。	1. 詳しく話し合っている 2. 一応話し合っている 3. 話し合ったことはない		

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
55	川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。 あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものについて、ご回答ください。 ※「地域包括ケアシステム」とは… 誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、医療や介護、福祉などの必要なサービスが切れ目なく提供される仕組みと地域づくりの取組のことであり、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体で取り組むことが大切です。 市民一人ひとりの行動としては、健康づくりやいきがづくり、地域活動などに取り組むことなどが挙げられます。	1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかわかっている、具体的に行動している 2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかわかっているが、具体的に行動していない 3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない 4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない 5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない	総合計画 H28実態調査	
56	ここからは、介護者の方におうかがいします。 介護を必要とする人から見ると、あなた(主な介護者)は次のどれですか。	1. 配偶者 2. 娘 3. 息子 4. 娘の配偶者 5. 息子の配偶者 6. 兄弟・姉妹 7. その他の親族 8. ホームヘルパー 9. 特に介護者はいない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
変更 57	前問で「1」から「5」と答えた方におうかがいします。あなた(主な介護者)の年齢はいくつですか。	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	在宅介護調査 B問4 第1回協議内容

要介護・要支援認定者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 58	現在、主な介護者が行なっている介護について、ご回答ください。	【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養・ストーマ・痰の吸引等) 【生活援助】 12. 食事の準備 13. その他の家事(掃除・洗濯・買い物) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 【その他】 15. その他 16. わからない	H28実態調査	在宅介護調査 B問5
59	あなた(主な介護者)は、介護をする上で困難や負担を感じることはありませんか。	1. いつも感じている 2. 時々感じることもある 3. 感じることはない 4. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	60	前問で「1」または「2」と答えた方におうかがいします。困難や負担を感じる理由について、ご回答ください。	1. 就労しているから 2. 体力的にもたないから 3. 精神的にもたないから 4. 経済的にもたないから 5. 他の高齢者の介護もしているから 6. 育児・子育て中だから 7. 家や部屋が狭いから 8. 身近に援助してくれる人がいないから 9. 医療的な処置が難しいから 10. 認知症の対応が難しいから 11. 家族状況から介護するゆとりがつかれないから 12. 介護する上での専門知識や技術が足りないから 13. その他	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加	61	あなた(主な介護者)の現在の勤務形態について、ご回答ください	1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている 3. 介護のために仕事を辞めた 4. 働いていない 5. 主な介護者に確認しないと、わからない		在宅介護調査 B問7 第1回協議内容
追加	62	問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方について調整をしていますか	1. 特に行っていない 2. 介護のために「労働時間を調整」しながら働いている 3. 介護のために「休暇」を取りながら、働いている 4. 介護のために「在宅勤務」を利用しながら、働いている 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない		在宅介護調査 B問8

要介護・要支援認定者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加	63	問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか	1. フリーランス等のため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択 5. 働く場所の多様化 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 9. その他 10. 特にない 11. 主な介護者に確認しないと、わからない		在宅介護調査 B問9
追加	64	問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない		在宅介護調査 B問10
	65	最後に、介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについて、ご意見があればお聞かせください。	1. 介護保険制度全般について 2. 介護保険料について 3. 介護認定について 4. 在宅サービスについて 5. 施設サービス 6. 介護人材について 7. 情報提供について 8. 市への要望・意見等について 9. 経済的負担について 10. 将来への不安・悩みについて 11. アンケート調査について 12. ケアマネジャーについて 13. 家族介護について 14. その他	H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
1	この調査に回答していただく方は、どなたですか。	1. 本人(代筆可) 2. 家族 3. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
2	あなた(特別養護老人ホームを待機している本人)のことについて、ご回答ください。 性別	1. 男性 2. 女性	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
3	年齢	1. 65歳～69歳 2. 70歳～74歳 3. 75歳～79歳 4. 80歳～84歳 5. 85歳～89歳 6. 90歳以上	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
4	お住まいの区	1. 川崎区 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区 5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
5	あなたの家族の状況について、ご回答ください。	1. 一人暮らし高齢者 2. 夫婦世帯(本人とその配偶者のみ) 3. 子や孫など同居 4. その他の世帯	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
6	あなたは、現在はどちらで生活されていますか。	1. 自宅(ショートステイを利用中の場合を含む) 2. すでに特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所している 3. 老人保健施設(介護老人保健施設) 4. 介護療養型医療施設(介護保険適用の病院、診療所) 5. 認知症高齢者グループホーム 6. 軽費老人ホーム(ケアハウスを含む) 7. 有料老人ホーム 8. サービス付き高齢者向け住宅 9. 病院、診療所(医療保険適用の病院、診療所) 10. 養護老人ホーム 11. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
7	特別養護老人ホームへの入所を引き続き希望しますか。	1. 希望する 2. 希望しない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	第1回協議内容
8	前問で「2」と答えた方におうかがいします。その理由について、ご回答ください。	1. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所した 2. 老人保健施設(介護老人保健施設)に入所した 3. 介護療養型医療施設(介護保険適用の病院、診療所)に入院した 4. 認知症高齢者グループホームに入居した 5. 軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)に入居した 6. 有料老人ホームに入居した 7. サービス付き高齢者向け住宅に入居した 8. 他の市町村へ引っ越した、9. このまま在宅で過ごすことにした 10. 病院に入院した 11. 亡くなった 12. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
9	特別養護老人ホームに入所したい時期はいつ頃ですか。	1. 今すぐ入所したい 2. 3か月～半年くらい先に入所したい 3. 半年～1年くらい先に入所したい 4. すぐには入所したくないが必要な時に入所したい 5. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	10	特別養護老人ホームへの入所の申込みをしようと考えたのは(そのきっかけは)、主にどなたですか。	1. あなた(あて名の本人)自身 2. 家族(同居・別居問わない) 3. 医師にすすめられた 4. ケアマネジャーにすすめられた 5. ホームヘルパーや訪問看護師にすすめられた 6. その他	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	11	あなたが特別養護老人ホームに、入所の申込みをした理由について、ご回答ください。	1. 専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため、 2. 今の生活を続けたいが、先々の心配があるため、 3. すぐには入所できないので、早めに申込みをしておく必要があるため、 4. 介護者がいないため、5. 介護をしている家族の負担が大きいため、 6. 在宅では施設より金銭的な負担が大きいため、 7. 病院や老人保健施設(介護老人保健施設)を退所する時期が迫っているから、 8. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	12	最初に特別養護老人ホームに入所の申込みをしてからどのくらいの期間がたちますか。	()年()か月間くらい	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
	13	現在、いくつの特別養護老人ホームに入所申込みをしていますか。	①全部で()か所 ②そのうち、川崎市内の特別養護老人ホームは()か所	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加	14	あなたが必要としている医療的ケアについて、ご回答ください。	1. ストーマ 2. 酸素吸入 3. 気管切開 4. カテーテル 5. 点滴 6. 胃ろう等による経管栄養 7. インスリン注射 8. 喀痰吸引 9. 尿道カテーテル 10. 人工透析 11. その他		いきいき長寿プラン項目

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
15	あなたは、将来特別養護老人ホームに入所した場合、どのような部屋を希望しますか。	1. 個室を利用したい 2. 複数の人と一緒にの部屋（多床室）を利用したい 3. どちらでもよい 4. わからない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
16	前問で「2」と答えた方におうかがいします。なぜ複数の人と一緒にの部屋（多床室）が良いですか。	1. 金額が安いから 2. 多床室のほうが他の人と一緒に安心だから 3. 寂しくないから 4. 多床室でもプライバシーが配慮されていると思うから 5. その他	H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
17	特別養護老人ホームの個室を利用する場合には、通常のコスト（月額約8～9万円）に加え、個室の利用料として月額約7～9万円程度が必要になります。これらの自己負担額をどのように考えますか。	1. 高い 2. やや高い 3. 妥当 4. やや安い 5. 安い	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
18	あなたは集団生活をするにあたって、まわりの人とのかかわりあいについてどう思いますか。	1. いつもいっしょにいたい 2. できるだけかかわりを持ちたい 3. あまりかかわりを持ちたくない 4. 一切かかわりを持ちたくない 5. わからない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
19	あなたが、9月中に利用した在宅サービスはありますか。	1. ホームヘルプサービス(訪問介護) 2. 夜間対応型訪問介護 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリテーション 7. 居宅療養管理指導 8. 小規模多機能型居宅介護 9. 看護小規模多機能型居宅介護 10. デイサービス(通所介護)(認知症対応型も含む)、 11. デイサービス(療養通所介護) 12. デイケア(通所リハビリテーション) 13. ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) 14. 福祉用具貸与・購入(車いすやポータブルトイレなどの貸与、購入)、 15. 住宅改修(手すりの設置等) 16. その他 17. サービスは利用していない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
20	あなたが在宅生活を続けるために必要なサービスについて、ご回答ください。	1. ホームヘルプサービス(訪問介護) 2. 夜間対応型訪問介護 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリテーション 7. 居宅療養管理指導 8. 小規模多機能型居宅介護 9. 看護小規模多機能型居宅介護 10. デイサービス(通所介護)(認知症対応型も含む) 11. デイサービス(療養通所介護) 12. デイケア(通所リハビリテーション) 13. ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) 14. 福祉用具貸与・購入(車いすやポータブルトイレなどの貸与、購入) 15. 住宅改修(手すりの設置など) 16. その他	H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 21	自宅での生活であなたが最もお困りのことについて、ご回答ください。	1. トイレ(排泄) 2. 入浴 3. 食事 4. 移動(移乗) 5. 金銭管理 6. 薬の内服 7. 買い物 8. 掃除 9. 洗濯 10. その他	H28実態調査	
22	あなたもしくは家族の方は、特別養護老人ホーム以外の施設や住宅に入居するお考えはありますか。	1. 介護付有料老人ホームへの入居を検討している 2. サービス付き高齢者向け住宅への入居を検討している 3. 認知症高齢者グループホームへの入居を検討している 4. 1～3以外の施設(住宅)への入居を検討している 5. 特別養護老人ホーム以外は考えていない	H28実態調査	
23	※介護者が回答している場合については、次の設問(問16及び問17)に、ご回答ください。 介護を必要とする人から見ると、あなた(主な介護者)は次のどれですか。	1. 配偶者 2. 娘 3. 息子 4. 娘の配偶者 5. 息子の配偶者 6. 兄弟・姉妹 7. その他の親族 8. ホームヘルパー 9. 特に介護者はいない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 24	前問で「1」から「5」と答えた方におうかがいします。あなた(主な介護者)の年齢はいくつですか。	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	在宅介護調査 B問4
変更 25	現在、主な介護者が行なっている介護について、ご回答ください。	1. 屋内の移乗・移動 2. 外出の付き添い、送迎等 3. 入浴・洗身 4. 日中の排泄 5. 夜間の排泄 6. 食事の準備(調理等) 7. 食事の介助(食べる時) 8. 服薬 9. 認知症状への対応 10. 衣服の着脱 11. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 12. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 13. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ、痰の吸引等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. その他 16. わからない	H28実態調査	
26	あなた(主な介護者)は、介護をする上で困難や負担を感じることはありませんか。	1. いつも感じている 2. 時々感じることもある 3. 感じることはない 4. わからない	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
27	前問で「1」または「2」と答えた方にお伺いします。 あなた(主な介護者)が困難や負担を感じる理由について、ご回答ください。	1. 就労しているから 2. 体力的にもたないから 3. 精神的にもたないから 4. 経済的にもたないから 5. 他の高齢者の介護もしているから 6. 育児・子育て中だから 7. 家や部屋が狭いから 8. 身近に援助してくれる人がいないから 9. 医療的な処置が難しいから 10. 認知症の対応が難しいから 11. 家族状況から介護するゆとりがつかれないから 12. 介護する上での専門知識や技術が足りないから 13. その他	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
28	前問で「1」または「2」と答えた方におうかがいします。在宅生活に役立つと思うサービスについて、ご回答ください。	1. ホームヘルプサービス(訪問介護) 2. 夜間対応型訪問介護 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリテーション 7. 居宅療養管理指導 8. 小規模多機能型居宅介護 9. 看護小規模多機能型居宅介護 10. デイサービス(通所介護)(認知症対応型も含む) 11. デイサービス(療養通所介護) 12. デイケア(通所リハビリテーション) 13. ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) 14. 福祉用具貸与・購入(車いすやポータブルトイレなどの貸与、購入) 15. 住宅改修(手すりの設置など) 16. その他	H25実態調査 H28実態調査	

特別養護老人ホーム入居希望者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
29	最後に、介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについて、ご意見があればお聞かせください。	1. 介護保険制度全般について 2. 介護保険料について 3. 介護認定について 4. 在宅サービスについて 5. 施設サービス 6. 介護人材について 7. 情報提供について 8. 市への要望・意見等について 9. 経済的負担について 10. 将来への不安・悩みについて 11. アンケート調査について 12. ケアマネジャーについて 13. 家族介護について 14. その他	H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
1	貴事業所の所属する法人に○をつけてください。	1. 株式会社 2. 有限会社 3. 医療法人 4. 社会福祉法人 5. 社団法人・財団法人 6. NPO法人 7. 協同組合 8. 非法人 9. その他	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
変更 2	令和元年10月1日現在、貴事業所が指定を受けているサービスすべてに○をつけてください。	1. 居宅介護支援 2. 介護予防支援(地域包括支援センター) 3. 訪問介護 4. 夜間対応型訪問介護 5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、 6. 訪問入浴介護 7. 訪問看護 8. 訪問リハビリテーション 9. 居宅療養管理指導 10. 小規模多機能型居宅介護 11. 看護小規模多機能型居宅介護 12. 通所介護 13. 認知症対応型通所介護 14. 通所リハビリテーション 15. 短期入所生活介護 16. 短期入所療養介護 17. 福祉用具貸与 18. 認知症対応型共同生活介護 19. 特定施設入居者生活介護 20. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む) 21. 介護老人保健施設 22. 介護療養型医療施設 23. 指定計画相談支援(障害者総合支援法)	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
3	令和元年10月1日現在、貴事業所に所属するケアマネジャー数をご記入ください。	常勤()人、非常勤()人、合計()人 → 常勤換算すると()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
4	貴事業所において、令和元年9月のケアプラン作成実人数をご記入ください。	()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
5	9月合計のうち、川崎市の被保険者を対象としたケアプラン作成実人数をご記入ください。	()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
6	9月合計のうち、転居等の理由で介護報酬を請求できなかったケースはありますか。実人数をご記入ください。	()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
7	9月合計のうち、虐待あるいは虐待が疑われるケースはありますか。実人数をご記入ください。	()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
8	貴事業所では、ケアプラン作成の新規依頼があった場合に、どの程度対応(提供)できる体制にありますか。	1. 対応できる体制にない 2. 5件未満なら対応できる 3. 5～10件程度なら対応できる 4. 11件～20件程度なら対応できる 5. 11件以上でも対応できる 6. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
9	貴事業所では、地域包括支援センターより、予防ケアプラン作成の新規依頼があった場合に、どの程度対応(提供)できる体制にありますか。	1. 対応できない 2. 1～2件程度なら対応できる 3. 3件～5件程度なら対応できる 4. 6件～10件程度なら対応できる 5. 11件以上でも対応できる 6. わからない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
10	「1. 対応できない」理由について、あてはまるものに○をしてください。	1. 採算が合わない 2. 必要な人材が揃っていない 3. その他	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
11	貴事業所における居宅介護支援事業について、昨年度の収支の状況はいかがですか。	1. 黒字 2. 概ね収支均衡 3. 赤字 4. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
12	貴事業所では、ケアプランに、利用者や家族の要望・意向をどの程度反映できていますか。	1. すべてのケースで反映できている、 2. 7～9割程度のケースで反映できている 3. 4～6割程度のケースで反映できている 4. 2～3割程度のケースで反映できている 5. ほとんど反映できていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
13	貴事業所では、ケアプランを作成するにあたり、利用者の課題の分析(アセスメント)をどの程度実施できていますか。	1. すべてのケースで反映できている、 2. 7～9割程度のケースで反映できている 3. 4～6割程度のケースで反映できている 4. 2～3割程度のケースで反映できている 5. ほとんど反映できていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
14	貴事業所では、介護保険サービス以外のインフォーマルサービスも含めた、総合的な視点をもったケアプランの作成をしていますか。	1. すべてのケースで反映できている、 2. 7～9割程度のケースで反映できている 3. 4～6割程度のケースで反映できている 4. 2～3割程度のケースで反映できている 5. ほとんど反映できていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
15	貴事業所では、サービス提供開始前の居宅サービス事業者とのサービス担当者会議(ケアカンファレンス)を、どの程度実施していますか。	1. すべてのケースで反映できている、 2. 7～9割程度のケースで反映できている 3. 4～6割程度のケースで反映できている 4. 2～3割程度のケースで反映できている 5. ほとんど反映できていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
16	貴事業所では、ケアマネジャーによる訪問等により、利用者の状況の定期的(毎月)な把握を実施していますか。	1. すべてのケースで反映できている、 2. 7～9割程度のケースで反映できている 3. 4～6割程度のケースで反映できている 4. 2～3割程度のケースで反映できている 5. ほとんど反映できていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加 17	利用者によるサービス事業所の選択について、どの様に行っていますか。	1. 日頃から情報収集を行い、新規の事業所を含めて複数個所を提示し、必要に応じて利用者による見学等を行い、利用者の希望を聞いている、 2. 日頃から情報収集を行い、新規の事業所を含めて複数個所を提示し、利用者の希望を聞いている、 3. これまでやり取りのある事業所を複数提示し、必要に応じて利用者による見学等を行い、利用者の希望を聞いている 4. これまでやり取りのある事業所を複数提示し、利用者の希望を聞いている		
追加 18	モニタリングに要する時間について、1人あたりどれくらいの時間が必要と考えますか。	1. 15分未満 2. 15～30分程度 3. 30分～1時間程度 4. 1時間以上 5. 特に目安は決めていない		
19	貴事業所において、介護報酬請求事務にかかる時間は、1か月あたりおよそ何時間程度ですか。	()時間程度	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更	20 貴事業所において、川崎市で不足していると感じるサービスがありますか。特に不足していると感じるサービス3つ以内に○をしてください。	1. 居宅介護支援 2. 訪問介護 3. 夜間対応型訪問介護 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 5. 訪問入浴介護 6. 訪問看護 7. 訪問リハビリテーション 8. 居宅療養管理指導 9. 小規模多機能型居宅介護 10. 看護小規模多機能型居宅介護 11. 通所介護 12. 療養通所介護 13. 認知症対応型通所介護 14. 通所リハビリテーション 15. 短期入所生活介護 16. 短期入所療養介護 17. 福祉用具貸与 18. 福祉用具購入 19. 住宅改修 20. 認知症対応型共同生活介護 21. 特定施設入居者生活介護 22. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む) 23. 介護老人保健施設 24. 介護療養型医療施設・介護医療院 25. 指定計画相談支援(障害者総合支援法) 26. 不足していると感じるサービスはない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加	21 貴事業所の利用者の中で、介護医療院のニーズがありそうな方は何人くらいいますか	1. ()人くらいいる 2. いない 3. 分からない		第2回協議内容

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 22	貴事業所において、連絡調整や連携が取りにくいと感じる事業者や関連機関等がありますか。	1. 他の居宅介護支援事業所 2. 訪問介護事業者 3. 夜間対応型訪問介護事業者 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者 5. 訪問入浴介護事業者 6. 訪問看護事業者 7. 訪問リハビリテーション事業者 8. 居宅療養管理指導事業者 9. 小規模多機能型居宅介護事業者 10. 看護小規模多機能型居宅介護 11. 通所介護事業者 12. 通所リハビリテーション事業者 13. 短期入所生活介護事業者 14. 短期入所療養介護事業者 15. 福祉用具貸与・購入事業者 16. 住宅改修事業者 17. サービス付き高齢者向け住宅 18. 介護老人福祉施設 19. 介護老人保健施設 20. 介護療養型医療施設 21. 区役所・地区健康福祉ステーション 22. 地域包括支援センター 23. 障害者相談支援センター 24. 地域のかかりつけ医師 25. 病院の医師 26. 利用者の家族 27. その他	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
23	ケアマネジャーとしての立場からみて、介護保険サービス以外の川崎市の保健福祉サービスについて、もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきだと感じられるサービスはありますか。	1. 緊急通報システム 2. 福祉電話相談 3. 日常生活用具給付(自動消火器、電磁調理器) 4. 高齢者外出支援サービス事業(お出かけGo！) 5. 訪問理美容サービス 6. 徘徊高齢者発見システム 7. 紙おむつの給付 8. 寝具乾燥 9. 在宅寝たきり高齢者歯科診療 10. 要介護者生活支援ヘルパー派遣事業 11. 権利擁護事業(財産保全サービス等) 12. 高齢者在宅改造費助成 13. 高齢者短期入所ベット確保事業 14. 健幸福寿プロジェクト 15. 介護予防・日常生活支援総合事業 16. その他の介護予防サービス 17. 特になし	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
24	利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いものを5つ以内に○をしてください。	1. ケアプランに関すること 2. サービスの質や内容に関すること 3. 職員の資質等に関すること 4. 認定調査や要介護認定結果に関すること 5. サービス利用等の手続きに関すること 6. 制度やサービスの説明に関すること 7. 利用料や保険料負担に関すること 8. 介護保険制度そのものに関すること 9. その他 10. 苦情については把握していない 11. 苦情はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
25	過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)のケアマネジャーの研修参加状況について、あてはまるものすべてに○をしてください。 なお、常勤と非常勤の区別は、雇用形態によります。	1. 常勤のケアマネジャーの参加があった、 2. 非常勤(常勤以外)のケアマネジャーの参加があった、 3. 参加したケアマネジャーはいない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
26	過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)で、ケアマネジャーは公的機関が行う研修以外にどのような研修に参加しましたか。	1. 介護技術・知識 2. 介護保険制度や関係法令 3. 安全対策(事故時の応急措置等)、接遇・マナー 4. 情報共有、記録・報告方法 5. コンプライアンス・プライバシー保護 6. 事例検討 7. 資格取得のための研修 8. その他 9. いずれも行っていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
27	過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)で、ケアマネジャーの「2」のような研修への参加状況はどの程度ですか。	1. すべてのケアマネジャーが何らかの研修に参加している 2. すべてのケアマネジャーの7～9割程度が何らかの研修に参加している 3. すべてのケアマネジャーの4～6割程度が何らかの研修に参加している 4. すべてのケアマネジャーの2～3割程度が何らかの研修に参加している 5. すべてのケアマネジャーの1割程度、あるいはそれ以下しか研修に参加していない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
28	以下の取り組みについて、貴事業所が実施しているものすべてに○をしてください。	1. 事業所内のわかりやすい場所に運営規程を提示している 2. 事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている 3. 利用者からサービスの質に関する評価を受けている 4. 第三者機関によりサービスの質に関する評価を受けている 5. 居宅介護支援事業の基本的な業務に関する手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 6. 苦情・相談対応窓口(担当など)を設置している 7. 苦情・相談への対応に関する手続き等を定めた手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 8. 業務上知り得た利用者や家族の個人情報に関する守秘義務を職員に徹底している 9. サービス提供中に事故が発生した場合の対応手順、責任者等を定めた手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 10. 感染症の予防や発生した場合の蔓延防止に関する手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 11. 職員に対する健康診断を定期的実施している 12. 職員に対する感染症の予防接種を定期的実施している 13. 上記について行っているものはない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
29	貴事業所では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。	1. 基本的な技術や実践的知識の向上 2. 利用者の状態に応じた応用技術の向上 3. ケアマネジメント技術やアセスメント能力の向上 4. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上 5. 苦情や相談への対処能力の向上 6. 処遇困難者への対処能力の向上 7. ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底 8. 制度に関する最新情報の取得 9. 第三者評価の実施(「介護サービス情報の公表」を除く) 10. 事業所内でのキャリアパスの構築 11. その他 12. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
30	貴事業所では、災害時の対策を実施・計画していますか。	1. 災害対策マニュアル等を作成している 2. 災害時の備蓄対策をしている 3. 施設の耐震対策(ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など)を実施している 4. 防災訓練などで近隣の住民組織(町内会、自主防災組織)と連携したことがある 5. その他 6. 特に何もしていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
追加 31	事故や「ヒヤリ・ハット事例」については、1月に何件くらいありますか	1. 1月()件くらい 2. 発生していない 3. 把握していない		
追加 32	事故や「ヒヤリ・ハット事例」に関する周知、または研修等を行っていますか	1. 定期的に資料の回覧などで周知をして注意喚起を行っている 2. 定期的に会議・打合せで注意喚起を行っている 3. 定期的に研修等を行い注意喚起を行っている 4. 特に対応していない		

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加 33	利用者からの「セクハラ」「いやがらせ・不当な要求・暴力」の発生については、1月に何件くらいありますか ①セクハラ ②「いやがらせ・不当な要求・暴力」	1. 1月()件くらい 2. 発生していない 3. 把握していない		
追加 34	「セクハラ」の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. セクハラに対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAによる更新		
追加 35	「いやがらせ・不当な要求・暴力」の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. 「いやがらせ・不当な要求・暴力」に対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAによる更新		
36	ケアマネジャーは、虐待あるいは虐待が疑われるケースを発見したり、サービス提供事業者から報告があった場合、どのような対応をとっていますか。また、実際にそのような例がない場合どのような対応をとるようにしていますか。	1. 事業所内の上司や同僚に相談するようにしている 2. 他事業所のケアマネジャーに相談するようにしている 3. 地域包括支援センターに相談するようにしている 4. 川崎市の作成するマニュアルを参考として、対応を検討するようにしている 5. 行政に相談するようにしている 6. 誰にも相談せず自分で対応している 7. その他、8. 特に対応は考えていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
37	貴事業者において、事業を展開する上での問題点・課題はありますか。	1. 利用者の確保が困難 2. 人材の確保が困難 3. 従業員の雇用条件・福利厚生が不十分 4. 事務など間接経費が高い 5. 人件費が高い 6. 経理・介護報酬請求事務など事務作業が多い 7. 介護報酬が低い 8. 介護報酬に反映されない業務が多い 9. 運営・運転資金の確保が困難 10. 事業所(営業拠点)の確保・維持が困難 11. 従来から地域でサービス提供をしてきた事業主体が強い 12. サービス提供地域内に他の事業者が多すぎて競争が激しい 13. その他 14. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
38	川崎市内で居宅介護支援事業を展開する上で、川崎市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。	1. 介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供 2. 川崎市の高齢者保健福祉施策・サービスに関する情報の提供 3. 他の介護保険事業者に関する情報の提供 4. 市の広報やホームページを活用した、事業所の効果的なPRの支援 5. 事業者間の連携強化のための支援 6. ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者養成の推進 7. ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者の質の向上のための研修の実施 8. ケアマネジャーやサービス提供者のための相談窓口の設置 9. 処遇困難者への対応 10. サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み 11. その他 12. 特にない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護支援事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
39	貴事業所は、地域の中で次のような取組を行なっていますか。	1. 介護保険外の生活支援サービスの提供 2. 事業所の設備や建物等を地域に開放 3. 祭りなどの地域行事に事業所として参加 4. 町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり 5. 民生委員、関係機関等とともに地域の見守りネットワークに参加 6. 他の事業所等と連携した利用者の支援について手順やマニュアルを整備 7. 地域や学校において介護や健康づくり等に関するセミナー・教室を開催・支援 8. 介護者の集いを開催・支援 9. 職場見学や職場体験・実習の受け入れ 10. ボランティアの受け入れ 11. 生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化 12. いずれも行なっていない	H28実態調査	
40	川崎市へのご要望・協議内容などがございましたら、自由に記入してください。			

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
1	貴事業所の所属する法人に○をつけてください。	1. 株式会社 2. 有限会社 3. 医療法人 4. 社会福祉法人 5. 社団法人・財団法人 6. NPO法人 7. 協同組合 8. 非法人 9. その他	H13実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
2	調査票表紙に記載されているサービスについて、職員の実人数をご記入ください。	常勤()人、非常勤()人、合計()人	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
3	令和元年10月1日現在、調査票表紙に記載されているサービスの実利用者数は何人ですか。表紙ラベルのサービスの実利用者数	()人	H13実態調査 H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
4	上記のうち川崎市の被保険者実人数	()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
5	貴事業者が提供している調査票表紙に記載されているサービスについて、新規のサービス依頼があった場合に、どの程度対応(提供)できる体制にありますか。	1. 対応できる体制にない 2. 5件未満なら対応できる 3. 5～10件程度なら対応できる 4. 11件～20件程度なら対応できる 5. 21件以上でも対応できる 6. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
6	貴事業者が提供している調査票表紙に記載されているサービスについて、昨年度の収支の状況はいかがですか。	1. 黒字 2. 概ね収支均衡 3. 赤字 4. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
7	貴事業者が提供している調査票表紙に記載されているサービスについて、利用者一人ひとりに対して課題と目標を明確にしたサービス提供計画に基づくサービス提供をできていますか。	1. すべてのケースで実施できている 2. 7～9割程度のケースで実施できている 3. 4～6割程度のケースで実施できている 4. 2～3割程度のケースで実施できている 5. ほとんど実施できていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
8	貴事業者が提供している調査票表紙に記載されているサービスについて、介護報酬請求事務にかかる時間は、1か月あたりおよそ何時間（ ）時間程度程度ですか。		H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
9	貴事業者が提供している調査票表紙に記載されているサービスを提供するにあたり、ケアマネジャーとの連携やケアプランについて、問題と感ぜられることはありますか。	1. ケアマネジャーとの連絡がとりにくい 2. ケアカンファレンスが不十分 3. 利用者に関するサービス事業者の意見を聞いてほしい 4. ケアプランの課題の分析(アセスメント)が不十分 5. 利用者への訪問・連絡が不十分 6. ケアプラン実施後の評価が不十分 7. ケアプランが利用者の状況に対応していない 8. 利用者の変化やニーズについて対応が遅い 9. 自立支援という視点に立ったケアプランとなっていない 10. 介護保険以外のサービスを含めた総合的なケアプランとなっていない 11. その他 12. 特になし	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
10	貴事業所が提供している調査票表紙に記載されているサービスにおいて、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いもの5つ以内に○をしてください。	1. 個別のサービス計画に関すること 2. サービスの質や内容に関すること 3. 職員の資質等に関すること 4. 認定調査や要介護認定結果に関すること 5. サービス利用等の手続きに関すること 6. 制度やサービスの説明に関すること 7. 利用料や保険料負担に関すること 8. 介護保険制度そのものに関すること 9. その他 10. 苦情については把握していない 11. 苦情はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
11	貴事業所における職員の研修参加状況についておうかがいします。 過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の職員の研修参加状況について、あてはまるものすべてに○をしてください。なお、常勤と非常勤の区別は、雇用形態によります。	1. 常勤職員の参加があった 2. 非常勤(常勤以外)職員の参加があった 3. 参加した職員はいない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
12	過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)で、職員はどのような研修に参加しましたか。	1. 介護技術・知識 2. 介護保険制度や関係法令 3. 安全対策(事故時の応急措置等)、接遇・マナー 4. 情報共有、記録・報告方法 5. コンプライアンス・プライバシー保護 6. 事例検討 7. 資格取得のための研修 8. その他 9. いずれも行なっていない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
13	過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)で、職員の研修への参加状況はどの程度ですか。	1. すべての職員が何らかの研修に参加している 2. 職員の7～9割程度が研修に参加している 3. 職員の4～6割程度が研修に参加している 4. 職員の2～3割程度が研修に参加している 5. 職員の1割程度、あるいはそれ以下しか、研修に参加していない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
14	貴事業所が提供している調査票表紙に記載されているサービスに関する以下の取り組みについて、貴事業所が実施しているものすべてに○をしてください。	1. 事業所内のわかりやすい場所に運営規程を提示している 2. 事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている 3. 利用者からサービスの質に関する評価を受けている 4. 第三者機関によりサービスの質に関する評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く) 5. 居宅サービス事業の基本的な業務に関する手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 6. 苦情・相談対応窓口(担当など)を設置している 7. 苦情・相談への対応に関する手続き等を定めた手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 8. 業務上知り得た利用者や家族の個人情報に関する守秘義務を職員に徹底している 9. サービス提供中に事故が発生した場合の対応手順、責任者等を定めた手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 10. 感染症の予防や発生した場合の蔓延防止に関する手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 11. 職員に対する健康診断を定期的の実施している 12. 職員に対する感染症の予防接種を定期的の実施している 13. 上記について行っているものはない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
15	貴事業所が提供している調査票表紙に記載されているサービスについて、職員の質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思われますか。	1. 基本的な技術や実践的知識の向上 2. 利用者の状態に応じた応用技術の向上 3. ケアマネジメント技術やアセスメント能力の向上 4. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上 5. 苦情や相談への対処能力の向上 6. 処遇困難者への対処能力の向上 7. サービス提供者としての基本姿勢の徹底 8. 制度に関する最新情報の取得 9. 第三者評価の実施(介護サービス情報の公表を除く) 10. 事業所内でのキャリアパスの構築 11. その他、12. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
16	貴事業所では、災害時の対策を実施・計画していますか。	1. 災害対策マニュアル等を作成している 2. 災害時の備蓄対策をしている 3. 施設の耐震対策(ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など)を実施している 4. 防災訓練などで近隣の住民組織(町内会、自主防災組織)と連携したことがある 5. その他 6. 特に何もしていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
17	貴事業所では、虐待あるいは虐待が疑われるケースについて、どのような対応をしていますか。また、実際にそのような例がない場合、どのような対応をとるように準備していますか。	1. 発見した場合、管理者に報告するよう指導している 2. 事業所内の上司や同僚に相談できる環境を整えている 3. 事業所独自の対応マニュアルを作成(準備)している 4. 川崎市の作成するマニュアルの周知に努めている 5. 行政や地域包括支援センターに相談するよう指導している 6. ケアマネジャーに報告するよう指導している 7. その他 8. 特に対応は考えていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
18	貴事業所が、事業を展開する上での問題点・課題はありますか。	1. 利用者の確保が困難 2. 人材の確保が困難 3. 従業員の雇用条件・福利厚生が不十分 4. 事務など間接経費が高い 5. 人件費が高い 6. 経理・介護報酬請求事務など事務作業が多い 7. 介護報酬が低い 8. 介護報酬に反映されない業務が多い 9. 運営・運転資金の確保が困難 10. 事業所(営業拠点)の確保・維持が困難 11. 従来から地域でサービス提供をしてきた事業主体が強い 12. サービス提供地域内に同種の事業者が多すぎて競争が激しい 13. その他 14. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
19	貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員（訪問介護員と介護職員）について、1年間（平成30年10月1日～令和元年9月30日）の採用者数、離職者の数をお伺いします。又、貴事業所で1年間に離職した者のうち、勤務年数が「1年未満の者」及び「1年以上3年未満の者」の人数は何人でしたか。	人数を記入	H28実態調査	
20	貴事業所では、従業員の職種別の過不足状況はどうですか。	1. 大いに不足 2. 不足 3. やや不足 4. 適当 5. 過剰 6. 当該職種はいない	総合計画 H28実態調査	
21	前問で、「全体で見た場合」の不足した理由はどれですか。	1. 離職率が高い（定着率が低い） 2. 採用が困難である、 3. 事業を拡大したいが人材が確保できない 4. その他	H28実態調査	
22	前問で、「採用に困難がある」とお答えした事業所のみお答えください。原因は何にあるとお考えですか。	1. 労働時間が長い 2. 夜勤が多い 3. 休みが取りにくい 4. 雇用が不安定 5. キャリアアップの機会が不十分 6. 賃金が低い 7. 仕事がきつい（身体的・精神的） 8. 社会的評価が低い 9. その他 10. わからない	H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
23	貴事業所は、人材確保に向けて、どのような取組みを実施されていますか。	1. 採用にあたり、多様な募集ルートを活用し、募集を行っている 2. 採用にあたり、ケアの理念や経営理念、業務内容等を詳細に説明し、就労ニーズとのミスマッチの解消に努めている 3. 従業員の賃金について、職能給や業績給を導入し、モチベーション向上に努めている 4. 従業員の介護能力と就労ニーズを把握しながら能力開発に努めている 5. 従業員の悩みや不安・不満、疑問点等について、上司や同僚に気軽に相談できる体制づくりに努めている 6. その他 7. 特にない	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
24	どのようなルート活用していますか。	1. 職業安定所 2. 学校訪問 3. 従業員からの紹介 4. ホームページ 5. その他	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
25	貴事業所では、過去1年間（平成30年10月1日～令和元年9月30日）に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。	1. 人数・質ともに確保できている、 2. 人数は確保できているが、質には満足していない、 3. 質には満足だが、人数には確保できていない、 4. 人数・質ともに確保できていない	H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
26	貴事業所で、離職防止や定着促進のため重点を置いて取り組んだことはどれですか。	1. 賃金・労働時間等の労働条件(休暇を取りやすくすることも含める)の改善 2. 能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映 3. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 4. キャリアに応じた給与体系の整備 5. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けること 6. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 7. 能力開発の充実(社内研修、社外講習等の受講・支援等) 8. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修の実施、 9. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞くこと 10. 仕事内容の希望を聞くこと(持ち場の移動など) 11. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルスケア) 12. 健康対策や健康管理に力を入れること 13. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ること 14. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の設置 15. 業務改善や効率化等による働きやすい職場づくりに力を入れること 16. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めること(同好会、親睦会の実施含む) 17. 職場環境を整えること(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など) 18. 子育て支援を行なうこと(子ども預り所の設置や保育費用支援等) 19. その他	H28実態調査	
27	貴事業所は、介護職員処遇改善加算については、どのような対応をしましたか。	1. 算定した 2. 算定していない 3. 対象外の事業所である	H28実態調査	
28	前問で1とお答えいただいた場合のみお答えください。加算を算定した結果、どのような対応をしましたか。	1. 基本給の引き上げ 2. 諸手当の導入・引き上げ 3. 一時金の支給 4. 教育研修の充実 5. 昇進・昇格要件の明確化 6. 非正規職員から正規職員への登用 7. その他	H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加 29	事故や「ヒヤリ・ハット事例」については、1月に何件くらいありますか	1. 1月()件くらい 2. 発生していない 3. 把握していない		
追加 30	事故や「ヒヤリ・ハット事例」に関する周知、または研修等を行っていますか	1. 定期的に資料の回覧などで周知をして注意喚起を行っている 2. 定期的に会議・打合せで注意喚起を行っている 3. 定期的に研修等を行い注意喚起を行っている 4. 特に対応していない		
追加 31	利用者からの「セクハラ」「いやがらせ・不当な要求・暴力」の発生については、1月に何件くらいありますか ①セクハラ ②「いやがらせ・不当な要求・暴力」	1. 1月()件くらい 2. 発生していない 3. 把握していない		
追加 32	「セクハラ」の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. セクハラに対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAによる更新		
追加 33	「いやがらせ・不当な要求・暴力」の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. 「いやがらせ・不当な要求・暴力」に対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAによる更新		

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加 34	虐待の発生については、把握していますか	1. 虐待の発生を把握している 2. 虐待は発生していない 3. 虐待の有無を把握していない		
追加 35	これまで確認された虐待事例の原因についてお答えください(複数可)	1. 現場に対する認識不足等による指導不足 2. 介護方針の不明確さ 3. ケア体制が不十分 4. 職員育成が不十分		
追加 36	虐待の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. 虐待に対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAによる更新		
37	貴事業所が提供している調査票表紙に記載されているサービスについて、川崎市内で居宅介護サービス事業を展開する上で、川崎市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。	1. 介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供 2. 川崎市の高齢者保健福祉施策・サービスに関する情報の提供 3. 他の介護保険事業者に関する情報の提供 4. 市の広報やホームページを活用した、事業所の効果的なPRの支援 5. 事業者間の連携強化のための支援 6. ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者養成の推進 7. ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者の質の向上のための研修の実施 8. ケアマネジャーやサービス提供者のための相談窓口の設置 9. 処遇困難者への対応 10. サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み 11. その他 12. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
38	平成30年度末までに、貴法人が川崎市内において拡充させたいと考えているサービスあるいは新たに参入を予定しているサービスはありますか。	1. 居宅介護支援 2. 訪問介護 3. 夜間対応型訪問介護 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 5. 訪問入浴介護 6. 訪問看護 7. 訪問リハビリテーション 8. 居宅療養管理指導 9. 小規模多機能型居宅介護 10. 看護小規模多機能型居宅介護 11. 通所介護 12. 療養通所介護 13. 認知症対応型通所介護 14. 通所リハビリテーション 15. 短期入所生活介護 16. 短期入所療養介護 17. 福祉用具貸与 18. 認知症対応型共同生活介護 19. 特定施設入居者生活介護 20. 介護専用型特定施設入居者生活介護 21. 介護老人福祉施設 22. 介護老人保健施設 23. 定員30人未満の介護老人福祉施設 24. 定員30人未満で介護専用型の特定施設 25. 介護予防サービス 26. サービス付き高齢者向け住宅 27. その他 28. 川崎市内を範囲に参入意向のあるサービスはない 29. 未定である	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
39	貴事業所では、「介護プロフェSSIONナルのキャリア段位制度」を導入していますか。	1. すでに導入しており、評価者(アセッサー)登録者がいる 2. すでに導入しており、レベル認定に取り組む又はレベル認定を受けた介護職員がいる 3. 導入を予定している 4. 当面導入の予定はない 5. この制度を知らない	H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
40	貴事業所では、次の介護福祉機器を導入していますか。また、導入の有無にかかわらず、従業員の身体的負担軽減や腰痛予防、緩和等に効果があると思われるものについて記入してください。	1. 移動用リフト(立位補助機を含む) 2. 自動車車いすリフト 3. 傾斜角度や高さが調整できるベッド 4. 座面昇降機能付き車いす 5. 特殊浴槽 6. ストレッチャー 7. シャワーキャリー 8. 昇降装置 9. 車いす体重計 9. 各種介護ロボット(具体的な名称) 10. いずれも導入していない	H28実態調査	
41	貴事業所では、介護ロボットの導入予定がありますか。 なお、介護ロボットの例については、次の問の選択肢を参照してください。	1. すでに導入している 2. 導入を予定(検討)している 3. 導入の予定はない	H28実態調査	
42	前問で、1または2とお答えいただいた場合のみお答えください。 どのような介護ロボットが、介護職員の負担軽減に効果があると思いますか。	1. 介護する人が腰などにかかる負担を軽減するために装着する機器 2. 要介護者を抱え上げ、ベッドや車いすなどへの移乗を補助する機器 3. 外出する高齢者向けの電動アシスト付き手押し車 4. 要介護者の排せつ物を自動的に処理する機器 5. センサーや通信機能を備え、要介護者の見守りを支援するためのシステム 6. 癒しやセラピー効果を目的としたロボット 7. その他	H28実態調査	
43	貴事業所は、地域の中で次のような取組を行なっていますか。	1. 介護保険外の生活支援サービスの提供 2. 事業所の設備や建物等を地域に開放 3. 祭りなどの地域行事に事業所として参加 4. 町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり 5. 民生委員、関係機関等とともに地域の見守りネットワークに参加 6. 他の事業所等と連携した利用者の支援について手順やマニュアルを整備 7. 地域や学校において介護や健康づくり等に関するセミナー・教室を開催・支援 8. 介護者の集いを開催・支援 9. 職場見学や職場体験・実習の受け入れ 10. ボランティアの受け入れ 11. 生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化 12. いずれも行なっていない	H28実態調査	

居宅介護サービス事業者調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
44	川崎市へのご要望・協議内容などがございましたら、自由に記入してください。			

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
1	貴事業所の所属する法人に○をつけてください。	1. 株式会社 2. 有限会社 3. 医療法人 4. 社会福祉法人 5. 社団法人・財団法人 6. NPO法人 7. 協同組合 8. 非法人 9. その他	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
2	令和元年10月1日現在、貴施設が指定を受けているサービスすべてに○をつけてください。	1. 居宅介護支援 2. 訪問介護 3. 夜間対応型訪問介護 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 5. 訪問入浴介護 6. 訪問看護 7. 訪問リハビリテーション 8. 居宅療養管理指導 9. 小規模多機能型居宅介護 10. 看護小規模多機能型居宅介護 11. 通所介護 12. 認知症対応型通所介護 13. 通所リハビリテーション 14. 短期入所生活介護 15. 短期入所療養介護 16. 福祉用具貸与 17. 認知症対応型共同生活介護 18. 特定施設入居者生活介護 19. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む) 20. 介護老人保健施設 21. 介護療養型医療施設	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
3	令和元年10月1日現在、貴施設における職員の実人数をご記入ください。	常勤()人、非常勤()人、合計()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
4	令和元年10月1日現在、貴施設の入所者で、在宅生活が可能な心身の状態の人はいますか。(家族や住宅の状況は勘案せず、心身の状況のみを判断の対象としてください)	()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
5	貴施設における平成30年10月1日～令和元年9月30日の退所先または退所理由ごとの実人数は、それぞれ何人ですか。	①在宅()人 ②介護老人福祉施設()人 ③介護老人保健施設()人 ④介護療養型医療施設()人 ⑤認知症対応型共同生活介護()人 ⑥特定施設入居者生活介護()人 ⑦病院()人 ⑧死亡()人 ⑨その他()人 合計()人	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
6	貴施設における介護保健施設サービスについて、昨年度の収支の状況はいかがですか。	1. 黒字 2. 概ね収支均衡 3. 赤字 4. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
7	認知症対応型共同生活介護以外の施設におうかがいします。貴施設における、ユニットケアへの取り組みはどのようになっていますか。	1. ハード面・ケアの実践ともに、実際にユニットケアを実施している 2. ケアの実践において、部分的にユニットケアの考え方・方法を取り入れている 3. ユニットケアの導入を具体的に検討している段階である 4. ユニットケアに関心はあるが、実際の動きはない 5. ユニットケアの導入は考えていない(あてはまらないも含む) 6. その他 7. わからない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
8	貴施設では、施設サービス計画(ケアプラン)に、利用者や家族の要望・意向をどの程度反映できていますか。	1. すべてのケースで反映できている 2. 7～9割程度のケースで反映できている 3. 4～6割程度のケースで反映できている 4. 2～3割程度のケースで反映できている 5. ほとんど反映できていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
9	貴施設において、連絡調整や連携が取りにくいと感じる関連機関等がありますか。	1. 区役所保健福祉センター、地区健康福祉ステーション 2. 上記以外の市役所関係機関 3. 地域包括支援センター 4. かかりつけ医 5. 利用者の家族 6. その他 7. 連絡調整や連携が困難な関連機関等はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
10	貴施設において、介護報酬請求事務にかかる時間は、1か月あたりおよそ何時間程度ですか。	()時間程度	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
11	利用者の支援において、①課題別の委員会やワーキンググループをつくったり、②担当者をおいたり、③このような体制をとらないまでも重点的に推進しているなど、貴施設が力を入れているのは次のうちどれですか。	1. 利用者の生活環境(アメニティー)の快適さと衛生面への配慮 2. 利用者の好み、季節、地域の文化などを考慮した食生活の工夫 3. 利用者の身の回りの行為(ADL)が安心・快適に行える環境づくり 4. 利用者が身の回りの行為にできる限り自立できることを目的とした支援 5. 余暇時間を楽しむための趣味・レクリエーション活動とその支援 6. プライバシー保護のための工夫や配慮 7. 利用者や家族からの相談ごとに対する相談援助体制 8. 身体拘束防止に向けた取り組み 9. 施設内虐待防止に向けた取り組み 10. ボランティアの積極的な受け入れと地域への働きかけ 11. 利用者と地域住民との交流の支援 12. その他 13. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
12	貴施設では、身体拘束をしないケアに向けてどのような取り組みを行っていますか。	1. 職員を増員し、見守りを強化する 2. 巡回の回数を多くする 3. 職員の目の届く場所で過ごしてもらう 4. リハビリやレクリエーション等、拘束が必要な状態にならないための予防的ケアを充実させる 5. ベッド・車いす等を安全に使用できるように福祉用具の工夫をしている 6. 徘徊防止のための設備面の工夫・整備をしている 7. 職員の意識改革に努めている 8. 身体拘束防止のための勉強会や研修の開催や参加をしている 9. 身体拘束防止のための検討会や委員会を開いている 10. その他 11. 特に取り組みを行っていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
13	利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いもの5つ以内に○をしてください。	1. 個別のサービス計画に関すること 2. サービスの質や内容に関すること 3. 職員の資質等に関すること 4. 認定調査や要介護認定結果に関すること 5. サービス利用等の手続きに関すること 6. 制度やサービスの説明に関すること 7. 利用料や保険料負担に関すること 8. 介護保険制度そのものに関すること 9. その他 10. 苦情については把握していない 11. 苦情はない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
14	貴施設における職員の研修参加状況についておうかがいします。過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の職員の研修参加状況について、あてはまるものすべてに○をしてください。なお、常勤と非常勤の区別は、雇用形態によります。	1. 常勤職員の参加があった 2. 非常勤(常勤以外)の職員の参加があった 3. 参加した職員はいない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
15	過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)で、職員はどのような研修に参加しましたか。	1. 介護技術・知識 2. 介護保険制度や関係法令 3. 安全対策(事故時の応急措置等)、接遇・マナー 4. 情報共有、記録・報告方法 5. コンプライアンス・プライバシー保護 6. 事例検討 7. 資格取得のための研修 8. その他 9. いずれも行なっていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
16	過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)で、職員の研修への参加状況はどの程度ですか。	1. すべての職員が何らかの研修に参加している、 2. 職員の7～9割程度が研修に参加している、 3. 職員の4～6割程度が研修に参加している、 4. 職員の2～3割程度が研修に参加している、 5. 職員の1割程度、あるいはそれ以下しか、研修に参加していない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
17	以下の取り組みについて、貴施設が実施しているものすべてに○をしてください。	1. 事業所内のわかりやすい場所に運営規程を提示している 2. 事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている 3. 利用者からサービスの質に関する評価を受けている 4. 第三者機関によりサービスの質に関する評価を受けている 5. 施設サービス事業等の基本的な業務に関する手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 6. 苦情・相談対応窓口(担当など)を設置している 7. 苦情・相談への対応に関する手続き等を定めた手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 8. 業務上知り得た利用者や家族の個人情報に関する守秘義務を職員に徹底している 9. サービス提供中に事故が発生した場合の対応手順、責任者等を定めた手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 10. 感染症の予防や発生した場合の蔓延防止に関する手引書(マニュアル等文書化されたもの)を整備している 11. 職員に対する健康診断を定期的の実施している 12. 職員に対する感染症の予防接種を定期的の実施している 13. 上記について行っているものはない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
18	貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員（訪問介護員と介護職員）について、1年間（平成30年10月1日～令和元年9月30日）の採用者数、離職者の数をお伺いします。又、貴事業所で1年間に離職した者のうち、勤務年数が「1年未満の者」及び「1年以上3年未満の者」の人数は何人でしたか。	人数を記入	H28実態調査	
19	貴事業所では、従業員の職種別の過不足状況はどうですか。	1. 大いに不足 2. 不足 3. やや不足 4. 適当 5. 過剰 6. 当該職種はいない	総合計画 H28実態調査	
20	前問で、「全体で見た場合」の不足した理由はどれですか。	1. 離職率が高い（定着率が低い） 2. 採用が困難である 3. 事業を拡大したいが人材が確保できない 4. その他	H28実態調査	
21	前問で、「採用に困難がある」とお答えした事業所のみお答えください。原因は何にあるとお考えですか。	1. 労働時間が長い 2. 夜勤が多い 3. 休みが取りにくい 4. 雇用が不安定 5. キャリアアップの機会が不十分 6. 賃金が低い 7. 仕事がきつい（身体的・精神的） 8. 社会的評価が低い 9. その他 10. わからない	H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
22	貴事業所は、人材確保に向けて、どのような取組みを実施されていますか。	1. 採用にあたり、多様な募集ルートを活用し、募集を行っている 2. 採用にあたり、ケアの理念や経営理念、業務内容等を詳細に説明し、就労ニーズとのミスマッチの解消に努めている 3. 従業員の賃金について、職能給や業績給を導入し、モチベーション向上に努めている 4. 従業員の介護能力と就労ニーズを把握しながら能力開発に努めている 5. 従業員の悩みや不安・不満、疑問点等について、上司や同僚に気軽に相談できる体制づくりに努めている 6. 外国人従業員の雇用を含め、多様な方法を検討している 7. その他 8. 特になし	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
23	どのようなルートを活用していますか。	1. 職業安定所 2. 学校訪問 3. 従業員からの紹介 4. ホームページ 5. その他	H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
24	貴事業所では、過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。	1. 人数・質ともに確保できている 2. 人数は確保できているが、質には満足していない 3. 質には満足だが、人数には確保できていない 4. 人数・質ともに確保できていない	H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	25 貴施設では、職員の質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。	1. 基本的な技術や実践的知識の向上 2. 利用者の状態に応じた応用技術の向上 3. ケアマネジメント技術やアセスメント能力の向上 4. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上 5. 苦情や相談への対処能力の向上 6. 処遇困難者への対処能力の向上 7. サービス提供者としての基本姿勢の徹底 8. 制度に関する最新情報の取得 9. 第三者評価の実施(介護サービス情報の公表を除く) 10. 介護相談員の受入れ 11. 事業所内でのキャリアパスの構築 12. その他 13. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
変更	26 貴事業所で、離職防止や定着促進のため重点を置いて取り組んだことはどれですか。	1. 賃金・労働時間等の労働条件(休暇を取りやすくすることも含める)の改善 2. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇への反映 3. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 4. キャリアに応じた給与体系の整備 5. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けること 6. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 7. 能力開発の充実(社内研修、社外講習等の受講・支援等) 8. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修の実施、 9. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞くこと 10. 仕事内容の希望を聞くこと(持ち場の移動など) 11. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルスケア) 12. 腰痛防止を含む健康対策や健康管理に力を入れること 13. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ること 14. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の設置 15. 業務改善や効率化等による働きやすい職場づくりに力を入れること 16. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めること(同好会、親睦会の実施含む) 17. 職場環境を整えること(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など) 18. 子育て支援を行なうこと(子ども預り所の設置や保育費用支援等) 19. その他	H28実態調査	第2回協議内容

介護保険施設等調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
	27	貴事業所は、介護職員処遇改善加算については、どのような対応をしましたか。	1. 算定した 2. 算定していない 3. 対象外の事業所である	H28実態調査	
	28	前問で1とお答えいただいた場合のみお答えください。 加算を算定した結果、どのような対応をしましたか。	1. 基本給の引き上げ 2. 諸手当の導入・引き上げ 3. 一時金の支給 4. 教育研修の充実 5. 昇進・昇格要件の明確化 6. 非正規職員から正規職員への登用 7. その他	H28実態調査	
追加	29	事故や「ヒヤリ・ハット事例」については、1月に何件くらいありますか	1. 1月()件くらい 2. 発生していない 3. 把握していない		
追加	30	事故や「ヒヤリ・ハット事例」に関する周知、または研修等を行っていますか	1. 定期的に資料の回覧などで周知をして注意喚起を行っている 2. 定期的に会議・打合せで注意喚起を行っている 3. 定期的に研修等を行い注意喚起を行っている 4. 特に対応していない		
追加	31	利用者からの「セクハラ」「いやがらせ・不当な要求・暴力」の発生については、1月に何件くらいありますか ①セクハラ ②「いやがらせ・不当な要求・暴力」	1. 1月()件くらい 2. 発生していない 3. 把握していない		

介護保険施設等調査

No		質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加	32	「セクハラ」の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. セクハラに対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAによる更新		
追加	33	「いやがらせ・不当な要求・暴力」の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. 「いやがらせ・不当な要求・暴力」に対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAによる更新		
追加	34	虐待の発生については、把握していますか	1. 虐待の発生を把握している 2. 虐待は発生していない 3. 虐待の有無を把握していない		
追加	35	これまで確認された虐待事例の原因についてお答えください(複数可)	1. 現場に対する認識不足等による指導不足 2. 介護方針の不明確さ 3. ケア体制が不十分 4. 職員育成が不十分		

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
追加 36	虐待の対応策として、具体的に取り組んでいることを教えてください	1. 虐待に対する事業者としての基本方針の決定 2. 基本方針の職員、利用者及び家族等への周知 3. マニュアル等の作成 4. 報告・相談しやすい窓口の設置 5. 介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取り組み 6. 対応策の策定とPDCAIによる更新		
37	貴施設では、災害時の対策を実施・計画していますか。	1. 災害対策マニュアル等を作成している 2. 災害時の備蓄対策をしている 3. 施設の耐震対策(ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など)を実施している 4. 防災訓練などで近隣の住民組織(町内会、自主防災組織)と連携したことがある 5. その他 6. 特に何もしていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
38	「2. 災害時の備蓄対策をしている」と回答された方におうかがいします。どのようなものをどの位備蓄していますか。	1. 利用者に使用する医薬品→()日分程度 2. 利用者や従業員に対する食料・飲料水→()日分程度 3. 救助用資器材 4. 発電機 5. 燃料 6. その他 7. 特に備蓄はしていない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
39	貴施設において、事業を展開する上での問題点・課題はありますか。	1. 利用者の確保が困難 2. 人材の確保が困難 3. 従業員の雇用条件・福利厚生が不十分 4. 事務など間接経費が高い 5. 人件費が高い 6. 経理・介護報酬請求事務など事務作業が多い 7. 介護報酬が低い 8. 介護報酬に反映されない業務が多い 9. 運営・運転資金の確保が困難 10. 事業所（営業拠点）の確保・維持が困難 11. 近隣に同種のサービス事業者が多く、競争が激しい 12. その他 13. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
40	川崎市内で施設サービス事業を展開する上で、川崎市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。	1. 介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供 2. 川崎市の高齢者保健福祉施策・サービスに関する情報の提供 3. 他の介護保険事業者に関する情報の提供 4. 市の広報やホームページを活用した、事業所の効果的なPRの支援 5. 事業者間の連携強化のための支援 6. ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者養成の推進 7. ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者の質の向上のための研修の実施 8. サービス提供者のための相談窓口の設置 9. 処遇困難者への対応 10. サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み 11. その他 12. 特にない	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
41	令和3年度末までに、貴法人が川崎市内において拡充させたいと考 えているサービス、あるいは新たに参入を予定しているサービスはあ りますか。	1. 居宅介護支援 2. 訪問介護、3. 夜間対応型訪問介護 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 5. 訪問入浴介護 6. 訪問看護 7. 訪問リハビリテーション 8. 居宅療養管理指導 9. 小規模多機能型居宅介護 10. 看護小規模多機能型居宅介護 11. 通所介護 12. 療養通所介護 13. 認知症対応型通所介護 14. 通所リハビリテーション 15. 短期入所生活介護 16. 短期入所療養介護 17. 認知症対応型共同生活介護 18. 特定施設入居者生活介護 19. 介護専用型特定施設入居者生活介護 20. 介護老人福祉施設 21. 介護老人保健施設、 22. 定員30人未満の介護老人福祉施設、 23. 定員30人未満で介護専用型の特定施設、 24. 介護予防サービス 25. サービス付き高齢者向け住宅 26. その他 27. 川崎市内を範囲に参入意向のあるサービスはない 28. 未定である	H16実態調査 H19実態調査 H22実態調査 H25実態調査 H28実態調査	
42	貴事業所では、「介護プロフェッショナルのキャリア段位制度」を導入 していますか。	1. すでに導入しており、評価者(アセッサー)登録者がいる 2. すでに導入しており、レベル認定に取り組む又はレベル認定を受けた介 護職員がいる 3. 導入を予定している 4. 当面導入の予定はない 5. この制度を知らない	H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
変更 43	貴事業所では、次の介護福祉機器を導入していますか。また、導入の有無にかかわらず、従業員の身体的負担軽減や腰痛予防、緩和等に効果があると思われるものについて記入してください。	1. 移動用リフト(立位補助機を含む) 2. 自動車車いすリフト 3. 傾斜角度や高さが調整できるベッド 4. 座面昇降機能付き車いす 5. 特殊浴槽 6. ストレッチャー 7. シャワーキャリー 8. 昇降装置 9. 車いす体重計 10. 各種介護ロボット(具体的な名称:) 11. いずれも導入していない	H28実態調査	
44	貴事業所では、介護ロボットの導入予定がありますか。 なお、介護ロボットの例については、次の問の選択肢を参照してください。	1. すでに導入している 2. 導入を予定(検討)している 3. 導入の予定はない	H28実態調査	
45	前問で、1または2とお答えいただいた場合のみお答えください。 どのような介護ロボットが、介護職員の負担軽減に効果があると思いますか。	1. 介護する人が腰などにかかる負担を軽減するために装着する機器 2. 要介護者を抱え上げ、ベッドや車いすなどへの移乗を補助する機器 3. 外出する高齢者向けの電動アシスト付き手押し車 4. 要介護者の排せつ物を自動的に処理する機器 5. センサーや通信機能を備え、要介護者の見守りを支援するためのシステム 6. 癒しやセラピー効果を目的としたロボット 7. その他	H28実態調査	

介護保険施設等調査

No	質問文	選択肢	備考	追加・変更・削除理由
46	貴事業所は、地域の中で次のような取組を行なっていますか。	1. 介護保険外の生活支援サービスの提供 2. 事業所の設備や建物等を地域に開放 3. 祭りなどの地域行事に事業所として参加 4. 町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり 5. 民生委員、関係機関等とともに地域の見守りネットワークに参加 6. 他の事業所等と連携した利用者の支援について手順やマニュアルを整備 7. 地域や学校において介護や健康づくり等に関するセミナー・教室を開催・支援 8. 介護者の集いを開催・支援 9. 職場見学や職場体験・実習の受け入れ 10. ボランティアの受け入れ 11. 生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化 12. いずれも行っていない	H28実態調査	
47	川崎市へのご要望・協議内容などがございましたら、自由に記入してください。		H28実態調査	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
1	あなたは、今働いている事業所で具体的にどのような仕事をしていますか。 (1)あなたが行っている仕事(職種)はどれですか。	1. 訪問介護員 2. サービス提供責任者 3. 看護職員 4. 介護職員、 5. 生活相談員 6. 介護支援専門員 7. PT・OT・ST 8. その他	
2	上記(1)で○をつけた中から、主な仕事(職種)の番号を1つ選んで記入してください。	主な仕事(職種)の番号()	
3	今の勤務先に限らず、あなたの仕事(職種)に関する希望について伺います。	1. 今の仕事を続けたい 2. 今の仕事以外で、問1(1)に記載されている仕事をしたい 3. 問1(1)に記載されている仕事以外の仕事をしたい 4. わからない 5. 働きたくない	
4	上記(2)で記入した主な仕事(職種)の経験年数をお伺いします。他の法人での経験も含めてお答えください。	主な仕事(職種)の経験年数()年()か月	
5	あなたの職位は何ですか。	1. 管理職 2. 主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役 3. 1又は2以外	
6	あなたが今働いている法人での勤続年数をお伺いします。	勤続年数()年()か月	
7	あなたの就業形態、勤務形態についてお伺いします。 あなたの就業形態は次のどれですか。	1. 正規職員 2. 非正規職員(契約社員、嘱託職員、パートなど)	
8	「2. 非正規職員」に○をつけた方のみお答えください。 あなたの1日・1週間の所定労働時間は正規職員と同じですか。	1. 正規職員と同じ 2. 正規職員より短い 3. わからない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
9	今後、正規職員を希望しますか。	1. はい 2. いいえ	
10	あなたが希望とする、1週間の労働日数と労働時間をお伺いします。	労働日数()日／週 労働時間()時間／週	
11	あなたが現在もっている介護に関する資格等についてお伺いします。 あなたが現在持っている介護に関する資格等はどれですか。	1. 介護福祉士 2. 実務者研修 3. 介護職員初任者研修 4. 介護職員基礎研修 5. ホームヘルパー1級 6. ホームヘルパー2級 7. 介護支援専門員(ケアマネジャー) 8. 看護師・准看護師 9. PT・OT・ST 10. 社会福祉士 11. 福祉用具専門相談員 12. 栄養士・管理栄養士 13. 上記以外の介護福祉関係の資格 14. 資格なし	
12	今後取りたいと考えている資格等はどれですか。	1. 介護福祉士 2. 実務者研修 3. 介護職員初任者研修 4. 5. 6. 7. 介護支援専門員(ケアマネジャー) 8. 看護師・准看護師 9. PT・OT・ST 10. 社会福祉士 11. 福祉用具専門相談員 12. 栄養士・管理栄養士 13. 上記以外の介護福祉関係の資格 14. 15. 今後の取得希望なし	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
13	本調査票を渡された法人(事業所)で、採用時に条件等について説明を受けましたか。	1. 労働契約期間・更新 2. 勤務時間(始業・就業)、時間外労働の有無 3. 休日・年次有給休暇・特別休暇等 4. 就業場所・従事する業務の内容 5. 給与、諸手当・賞与支給に関する事項 6. 退職に関する事項(解雇の事由を含む) 7. 雇用保険の加入 8. 健康保険、厚生年金(厚生年金基金)の加入 9. 1～8の説明は受けていない	
14	あなたが働く職場での通常の1週間(月曜日～日曜日まで)に働く日数及び時間数をお伺いします。 本調査票を渡された職場で、1週間にどれくらい働きましたか。また、働いた時間数のうち、残業時間数はどのくらいですか。	働いた日数()日/週 働いた時間数()時間/週 うち、1週間の残業時間数()時間/週	
15	本調査票を渡された職場以外で、収入を伴う仕事をしていますか。	1. していない 2. 介護サービスの仕事をしている 3. 介護サービス以外の仕事をしている	
16	本調査票を渡された職場での、深夜勤務についてお伺いします。 深夜勤務(夜10時～朝5時)はありますか。	1. ある 2. ない	
17	「1. ある」に○をつけた方のみお答えください。 1か月あたり平均して何回の深夜勤務がありますか。	1か月あたり()回/月	
18	仮眠や休憩はとれますか。	1. 十分とれる 2. ある程度とれる 3. とれない	
19	深夜勤務時には、何人の職員で、何人の入居者をみていますか。	職員()人で、入居者()人	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
20	あなたの賃金は、どのように決められていますか。賃金の支払携帯及びその支払形態に該当する金額をご記入ください。	1. 時間給（1時間あたり 円／時） 2. 日給（1日あたり 円／日） 3. 月給 4. その他	
21	あなたの通常月の税込み月収はどのくらいですか。「1. 時間給」及び「2. 日給」の方もご記入ください。賞与、残業代、休日出勤手当を除き、通勤費等毎月決まって支給される各種手当を含む賃金額（税込み）です。	税込みで 平均（ ）円／月	
22	昨年1年間の収入について、お伺いします。	1. 昨年は働いていなかった 2. 昨年は途中から働いた、 3. 昨年は1年を通して働いた	
23	年収はいくらですか。	1. 103万円未満 2. 103～130万円未満 3. 130～200万円未満 4. 200～250万円未満 5. 250～300万円未満 6. 300～400万円未満 7. 400～600万円未満 8. 600万円以上	
24	賃金や手当等についてどのような希望をお持ちですか。	1. 基本給の引き上げ 2. 能力や仕事ぶりに応じた評価の実施 3. 勤務年数に応じた評価の実施 4. 資格手当の導入・引き上げ 5. 役職手当の導入・引き上げ 6. 早朝・夜間手当の導入・引き上げ 7. 通勤手当の導入・引き上げ 8. 移動時間の労働時間への参入や移動手当の導入・引き上げ 9. 賞与（ボーナス）の導入・引き上げ 10. 連絡用の携帯電話の支給・通信費補助 11. その他（ ） 12. 賃金や手当等についての希望はない	
25	今の職場での能力開発についてお伺いします。 今の法人に採用された時、採用時研修を受けましたか。	1. 受けた 2. 受けない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
26	「1. 受けた」に○を付けた方のみお答えください。 採用時に安全衛生に関する研修を受けましたか。	1. 受けた 2. 受けない	
27	採用後の一定期間、指導担当者（個別指導者、プリセプター、チューターなど）がいましたか。	1. いた 2. いない	
28	過去1年間に仕事上の能力の向上を考えて、上司や指導担当者、同僚はどの程度、指導やアドバイスをしてくれましたか。	1. よくしてくれた 2. まあしてくれた 3. あまりしてくれなかった 4. 全くしてくれなかった	
29	過去1年間で業務を離れ、研修や講習会に参加したことがありますか。また、受講回数をご記入ください。	1. 受けた 一年に()回 2. 受けない	
30	あなたは、平成24年4月から導入された実務者研修を受講しましたか。	1. 受講した 2. 今後受講するつもりである、 3. 介護福祉士の資格を持っているので受講する必要がある 4. 受講しておらず、今後も受講するつもりはない 5. 実務者研修を知らない	
31	「1.」または「2.」に○をつけた方のみお答えください。 受講方法はどれですか。	1. 通学制 2. 通信制 3. 未定	
32	実施機関はどれですか。	1. 介護福祉士関係の養成校 2. 民間機関（企業、社会福祉法人、NPO法人等） 3. 介護労働安定センター 4. 公的機関 5. わからない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
33	実務者研修以外の研修の受講状況についてお伺いします。次の各項目すべてについて、あてはまる番号に○をつけてください。 ①認知症介護基礎研修	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
34	②認知症介護実践者研修	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
35	③認知症介護実践リーダー研修	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
36	④認知症介護指導者養成研修	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
37	⑤介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級程度)	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
38	⑥介護福祉士資格取得準備講習	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
39	⑦福祉用具講座(福祉用具の基礎知識)	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
40	⑧腰痛予防講座(初任者向け・中級者向け)	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
41	⑨医療的ケア研修(たんの吸引、経管栄養)	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
42	⑩メンタルヘルス研修	1. ある 2. ないが今後受講してみたい 3. ない、今後も予定はない	
43	あなたが現在の仕事を選んだ理由は何ですか。	1. 働きがいのある仕事だと思ったから 2. 今後もニーズが高まる仕事だから 3. 人や社会の役に立ちたいから 4. 生きがい・社会参加のため 5. お年寄りが好きだから 6. 身近な人の介護の経験から 7. 資格・技能が活かせるから 8. 介護の知識や技能が身につくから 9. 給与等の収入が多いから 10. 自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから 11. 他によい仕事がないため 12. その他() 13. 特に理由はない	
44	いつ頃から介護の仕事に関心を持ち始めましたか。	1. 10代 2. 20代前半 3. 20代後半 4. 30代前半 5. 30代後半 6. 40代前半 7. 40代後半 8. 50代前半 9. 50代後半以降	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
45	あなたの今の仕事や職場には、次のようなことがあてはまりますか。	1. 専門性が発揮できる 2. 自分が成長している実感がある 3. キャリアアップの機会がある 4. 利用者の援助・支援や生活改善につながる 5. 仕事楽しい 6. 福祉に貢献できる 7. 生計を立てていく見込みがある 8. 法人(事業所)や上司から働きぶりが評価される 9. 業務改善の機会がある 10. 期待される役割が明確である 11. 目標にしたい先輩・同僚がいる 12. いずれもあてはまらない	
46	現在の仕事の満足度についてお伺いします。 ①仕事の内容・やりがい	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
47	②キャリアアップの機会	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
48	③賃金	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
49	④労働時間・休日等の労働条件	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
50	⑤勤務体制	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
51	⑥人事評価・処遇のあり方	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
52	⑦職場の環境	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
53	⑧職場の人間関係、コミュニケーション	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
54	⑨雇用の安定性	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
55	⑩福利厚生	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
56	⑪教育訓練・能力開発のあり方	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
57	⑫職業生活全体	1. 不満足 2. やや不満足 3. 普通 4. やや満足 5. 満足	
58	あなたの勤務先に関する希望についてお伺いします。	1. 今の勤務先で働き続けたい 2. 介護関係の別の勤務先で働きたい 3. 介護以外の福祉関係の別の勤務先で働きたい 4. 医療関係の別の勤務先で働きたい 5. 介護・医療・福祉関係以外の別の勤務先で働きたい 6. わからない 7. 働きたくない	
59	あなたの職場の特徴をお伺いします。	1. 男女の区別なく昇進・昇格できる雰囲気がある 2. 育児休業制度等子育てと両立支援の制度が活用できる雰囲気がある 3. 従業員の個人的な生活時間の確保に配慮する雰囲気がある 4. 残業や休日出勤が少ない、5. 女性の先輩や管理職が多くいる 6. 仕事と子育てを両立しながら働き続ける女性が多くいる 7. いずれもあてはまらない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
60	現在、あなたが抱えている働く上での悩み、不安、不満等についてお伺いします。 あなたが労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。	1. 雇用が不安定である 2. 正規職員になれない 3. 人手が足りない 4. 仕事のわりに賃金が低い 5. 労働時間が不規則である 6. 労働時間が長い 7. 不払い残業がある・多い 8. 休憩が取りにくい 9. 有給休暇が取りにくい 10. 夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある 11. 職務として行う医的な行為に不安がある 12. 身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある) 13. 精神的にきつい 14. 健康面(感染症、怪我)の不安がある 15. 業務に対する社会的評価が低い 16. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある、 17. 仕事の怪我などへの補償がない 18. その他() 19. 労働条件・仕事の負担について特に悩み、不安、不満等を感じていない	
61	あなたが職場での人間関係等について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。	1. 経営層の介護の基本方針、理念が不明確である 2. 経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である 3. 上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまく行かない 4. 上司や同僚の介護能力が低い、5. 自分と合わない上司や同僚がいる 6. 部下の指導が難しい 7. ケアの方法等について意見交換が不十分である 8. 悩みの相談相手がいない、相談窓口がない 9. その他() 10. 職場での人間関係について特に悩み、不安、不満等を感じていない	
62	あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。	1. 利用者に適切なケアができているか不安がある 2. 利用者は何をやってももらっても当然と思っている 3. 利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない 4. 利用者と家族の希望が一致しない 5. 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない 6. 禁じられている医行為を求められる 7. (医行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される 8. 利用者の家族が必要なサポート・理解をしてくれない 9. 良いと思ってやったことが利用者に理解されない 10. 介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある 11. その他() 12. 利用者及びその家族について特に悩み、不安、不満等を感じていない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
63	あなたの職場では、①次に掲げる取組みが十分行われていますか。	1. キャリアアップの仕組みの整備 2. 働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定 3. 勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定 4. 採用時における賃金・勤務時間の説明 5. 介護能力を適切に評価するしくみ 6. 介護能力に見合った仕事への配慮 7. 介護能力の向上に向けた研修 8. 実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定 9. 介護に関する事例検討会の開催 10. 定期的な健康診断の実施 11. 介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入 12. 事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり 13. 事業所の相談援助体制の設定 14. その他()	
64	また、②その取組みは働く上での悩み、不安、不満等を解消する上で、役立つと思いますか。	1. キャリアアップの仕組みの整備 2. 働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定 3. 勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定 4. 採用時における賃金・勤務時間の説明 5. 介護能力を適切に評価するしくみ 6. 介護能力に見合った仕事への配慮 7. 介護能力の向上に向けた研修 8. 実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定 9. 介護に関する事例検討会の開催 10. 定期的な健康診断の実施 11. 介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入 12. 事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり 13. 事業所の相談援助体制の設定、14. その他() 15. 役に立つと考えられることはない	
65	あなたが今働いている事業所には、何か悩みがある場合、上司以外に相談できる担当者や「相談窓口」がありますか。	1. ある 2. ない 3. わからない	
66	あなたが今働いている事業所には、「雇用管理責任者」がいますか。	1. いる 2. いない 3. わからない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
67	あなたが働いている事業所の法人格(経営主体)はどれですか。	1. 民間企業(個人、株式会社等) 2. 社会福祉協議会 3. 上記2以外の社会福祉法人 4. 医療法人 5. NPO(特定非営利活動法人) 6. 社団法人・財団法人 7. 協同組合(農協、生協) 8. 地方自治体(市区町村、広域連合を含む) 9. その他() 10. わからない	
68	あなたが働いている事業所及び法人の従業員数についてお伺いします。 事業所の従業員数は何人ですか。正規職員以外のパート・登録職員等は含みますが、臨時職員(急な仕事のために臨時に雇用される人)は除きます。	1. 1人(あなたのみ) 2. 5人未満 3. 5人以上10人未満 4. 10人以上20人未満 5. 20人以上50人未満 6. 50人以上100人未満 7. 100人以上 8. わからない	
69	同じ法人の中に、今働いている事業所とは別の事業所がありますか。	1. ある 2. ない	
70	「1. ある」に○をつけた方のみお答えください。 法人全体の従業者数は何人ですか。	1. 49人以下 2. 50人～99人 3. 100人～299人 4. 300人～499人 5. 500人以上 6. わからない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
71	あなたが今働いている事業所の主な介護サービスの種類は次のうちどれですか。	1. 居宅介護支援 2. 訪問介護 3. 訪問入浴介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハビリテーション 6. 居宅療養管理指導 7. 通所介護 8. 通所リハビリテーション 9. 短期入所生活介護 10. 短期入所療養介護 11. 特定施設入居者生活介護 12. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 14. 夜間対応型訪問介護 15. 認知症対応型通所介護 16. 小規模多機能型居宅介護 17. 複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護) 18. 認知症対応型共同生活介護 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護 20. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 21. 介護老人福祉施設 22. 介護老人保健施設 23. 介護療養型医療施設 24. 介護保険以外のサービス 25. その他(わからない)	
72	現在の法人に就職した理由についてお伺いします。	1. やりたい職種・仕事内容だから 2. 働きがいのある仕事だと思うから 3. 人や社会の役に立ちたいから 4. 資格・技能が活かせるから 5. 法人の方針や理念に共感したから 6. 経営が健全で将来が安定しているから 7. 通勤が便利だから 8. 労働日、労働時間が希望とあっているから 9. 賃金等の水準が適当だから 10. 教育研修等が充実しているから 11. 福利厚生が充実しているから 12. 子育て支援が充実しているから 13. その他() 14. 理由は特にない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
73	現在の法人に就職したきっかけは何ですか。	1. ハローワーク・人材銀行 2. 川崎市福祉人材バンク(web含む) 3. 学校・養成施設等での進路指導 4. 求人・就職情報誌、求人情報サイト 5. 折込チラシ、新聞・雑誌の広告 6. 法人又は施設・事業所のホームページ 7. 就職セミナー(就職相談会) 8. 友人・知人からの紹介 9. ボランティア、実習 10. ホームヘルパー等養成講座を通じて施設・事業所を知った、 11. 施設・事業所からの就職の働きかけ 12. 民間の職業紹介 13. 行政広報誌(市報、区報等) 14. その他()	
74	これまでのお仕事の実験について伺います。 学校卒業後、現在の仕事に就く前に、収入を伴う仕事をしたことがありますか。	1. 学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことはない 2. 学校卒業後、現在の仕事に就く前に収入を伴う仕事をしたことがある	
75	「2.」に○をつけた方のみお答えください。 これまでの勤務先の業種はどれですか。	1. 介護関係の業種 2. 介護以外の福祉関係の業種 3. 医療関係の業種 4. 介護・福祉・医療関係以外の業種	
76	これまでの勤務先で経験した仕事内容はどれですか。	1. 介護関係の仕事 2. 介護以外の福祉関係の仕事 3. 医療関係の仕事 4. 介護・福祉・医療関係以外の仕事	
77	これまでの勤務先で介護関係の仕事をした経験がある方にお伺いします。 ①その時の就業形態はどれですか。	1. 正規職員 2. 非正規職員(契約社員、嘱託職員、パートなど) 3. その他()	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
78	②その事業所に何年勤めましたか。	1. 3～4か月以下 2. 半年以下 3. 1年程度 4. 2年程度 5. 3年程度 6. 4年程度 7. 5年以上	
79	③その仕事をやめた理由は何ですか。	1. 人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため 2. 他に良い仕事・職場があったため 3. 新しい資格を取ったから 4. 収入が少なかったため 5. 自分の将来の見込みが立たなかったため 6. 自分に向かない仕事だったため 7. 職場の人間関係に問題があったため 8. 法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため 9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため 10. 定年・雇用契約の満了のため 11. 病気・高齢のため 12. 結婚・出産・妊娠・育児のため 13. 家族の介護・看護のため 14. その他()	
80	介護ロボットについて ①勤務先の事業所で介護ロボットを導入していますか。	1. 導入している 2. 導入していない	
81	②仕事の業務効率化に有効かと思いませんか。	1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. とてもそう思う	
82	③介護の質の向上に役立つと思いませんか。	1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. とてもそう思う	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
83	センター(見守り用など)について ①勤務先の事業所でセンサーを導入していますか。	1. 導入している 2. 導入していない	
84	②仕事の業務効率化に有効と思いますか。	1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. とてもそう思う	
85	③介護の質の向上に役立つと思いますか。	1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. とてもそう思う	
86	ICT(介護記録をタブレットなどの機器で入力することなど)について ①勤務先の事業所でICTを導入していますか。	1. 導入している 2. 導入していない	
87	②仕事の業務効率化に有効と思いますか。	1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. とてもそう思う	
88	③介護の質の向上に役立つと思いますか。	1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. とてもそう思う	
89	あなた自身についてお伺いします。 性別	1. 男性 2. 女性	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
90	年齢	()歳	
91	学歴等 ①専修・専門学校を除く最終学歴	1. 中学校 2. 高等学校(介護福祉関係の学科) 3. 高等学校(上記以外) 4. 高専、短大(介護福祉関係の学科) 5. 高専、短大(上記以外) 6. 大学・大学院(介護福祉関係の学科) 7. 大学・大学院(上記以外)	
92	②専修・専門学校に通学しましたか。	1. 専修・専門学校は通学していない 2. 介護福祉関係の専修・専門学校を卒業 3. 上記以外の専修・専門学校を卒業	
93	配偶関係	1. 既婚 2. 未婚 3. 離死別	
94	あなたの家庭での主たる生計の維持者は誰ですか。	1. 自分(本人) 2. 自分(本人)以外 3. 生活費は折半等	
95	その他 ①あなたは現在、あなたと配偶者の両親や、配偶者の介護をしていますか。	1. 現在、介護している 2. ここ数年のうちに、可能性がある 3. 当面ない	
96	②将来、介護に直面した場合、仕事と介護の両立ができると考えますか。	1. 続けることができると思う 2. 続けられないと思う 3. わからない	

介護労働者調査 サンプル

No	質問文	選択肢	備考
97	③次のことがあてはまりますか。	1. 勤務先の介護休業制度を知っている 2. 勤務先の介護休暇制度を知っている 3. 突然の残業がほとんどない 4. 日頃から有休がとりやすい 5. 休んだ時に自分の仕事を代わりに担当できる人がいる 6. いずれもあてはまらない	
98	④介護休業の利用の方法として、あなたは以下のAとBのどちらの考えに近いですか。近い 選択肢をお選びください。 A 介護休業は、仕事をしながら介護をするための体制を整えるための準備期間として利用 するものである B 介護休業は、仕事をせずに介護に専念するために利用するものである	1. Aである 2. どちらかというAに近い 3. どちらともいえない 4. どちらかというBに近い 5. Bである	